

# SHARP®

# 1-BIT THEATER SYSTEM

$\Delta\Sigma$   
1-BIT TECHNOLOGY

## DVD 1 ビットデジタルシアターシステム

エス ディー    エー ティー    ディー ブイ  
形名 **SD-AT50DV**

取扱説明書

お買いあげいただき、まことにありがとうございました。  
この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。  
ご使用の前に、「安全に正しくお使いいただくために」を必ずお読み  
ください。  
この取扱説明書は、保証書とともに、いつでも見ることができ  
るところに必ず保存してください。



# もくじ

1章	はじめに	ページ
	安全に正しくお使いいただくために .....	4
	おもな特長 .....	8
	著作権について .....	8
	付属品について .....	9
	各部のなまえ .....	10
	ディスクについて .....	14

2章	準備 (お使いの前に)	ページ
	システムを接続する .....	16
	テレビを接続する .....	18
	システムを設置する .....	20
	リモコンの使いかた .....	23
	電源を入れる .....	23
	時計を合わせる .....	24
	テレビ画面サイズを設定する .....	25

3章	基本 (すぐに楽しむ)	ページ
	ラジオ放送を聞く .....	26
	ディスクを再生する .....	28
	・再生の停止 .....	29
	・再生の一時停止 .....	29
	・音量の調整 .....	29

4章	活用 (よく使う操作/便利な操作/ MP3 ディスクの操作/いろいろな設定)	ページ
	<b>よく使う操作</b>	
	・チャプター (トラック) の頭出しをする (スキップ) .....	30
	・早送り/早戻しをする (サーチ) .....	30
	・好きなところから再生する (ダイレクト再生) .....	31
	・停止した位置から続けて再生する (つづき再生) .....	32
	・静止画/コマ送りで見る (静止画再生/コマ送り再生) ...	32
	・スローモーションで見る (スロー再生) .....	32
	<b>便利な操作</b>	
	・好きな順に再生する (プログラム再生) .....	33
	・くり返して再生する (リピート再生) .....	34
	・指定した位置間をくり返して再生する (A-B リピート再生) .....	34
	・順不同で再生する (ランダム再生) .....	35
	・ディスクのトップメニューからタイトルを選ぶ .....	35
	<b>MP3 ディスクの操作</b>	
	・MP3 ディスクを再生する .....	36
	<b>いろいろな設定</b>	
	・字幕言語を変更する .....	37
	・音声言語 (音声出力) を変更する .....	37
	・画像を明るくする (黒レベル設定) .....	38
	・アングルを変更する .....	38
	・画像を拡大表示する (ズーム) .....	38
	・テレビ画面の表示を切り換える .....	39
	・ディスクメニューから字幕や音声を設定する .....	39

**5章 応用（その他の操作）**

	ページ
ひろがりのある音を楽しむ（サウンドモード）	40
リモコンの設定内容を変える	43
スピーカーの設定について	44
タイマーを使う	46
スリープを使う	48
他の機器の音声を接続する	50
テレビを操作する	51
DVDの初期設定を変える	52

**6章 参考**

	ページ
言語コード一覧表	56
エラーメッセージについて	57
“故障かな？”と思ったら	58
移動やお手入れについて	60
別売品について	60
仕様について	61
保証とアフターサービス	62
お客様ご相談窓口のご案内	63

**本書で使用している表示記号**

ディスクによって、使用できる機能が異なります。下記の記号は、説明箇所に表示されているディスクを表しています。

**DVD** .... DVD を表しています。

**CD** .... 音楽 CD を表しています。

**MP3** .... MP3 で記録された CD-R/RW を表しています。

- ・本書で説明している操作でも、ディスクによっては操作できないものがあります。
- ・操作中、テレビ画面に「」マークが表示されることがあります。これは、本書に記載されている操作をディスク側で禁止していることを表しています。

**■再生できるディスクについて**

本機は、次のディスクを再生することができます。

ディスクの種類	ディスクの内容	ディスクの大きさ
NTSC方式のDVD  またはビデオモードで記録されたDVD-R/DVD-RW（※1）	音声 + 映像（動画）	12cm
		8cm
音楽CD  またはCDV（※2）	音声	12cm
		8cm
音楽形式のCD-R/CD-RW（※3）   またはMP3フォーマットで記録されたCD-R/CD-RW（※4）	音声	12cm
		8cm

- （※1）DVD-R/DVD-RWは、ディスクの特性、キズ、汚れ、または光ピックアップの汚れなどにより、再生できないことがあります。
- （※2）CDVは、オーディオパートのみ再生できます。
- （※3）CD-R/CD-RWは、記録した機器やディスクの状態により、正しく再生できないことがあります。
- （※4）MP3フォーマットは、MPEG 1 Audio Layer3（サンプリング周波数44.1kHzまたは48.1kHz、固定ビットレート128kbps以上）のファイルのみ再生可能です。また、ディスクの状態やフォーマットの特性により再生できないことがあります。
- ・再生できないディスクについて、くわしくは15ページをごらんください。

# 安全に正しくお使いいただくために

DVD 1-BIT DIGITAL THEATER SYSTEM SD-AT50DV

## 1 章 はじめに

### 安全に正しくお使いいただくために

この取扱説明書には、安全にお使いいただくためにいろいろな表示をしています。その表示を無視して誤った取り扱いをすることによって生じる内容を、次のように区分しています。内容をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

 <b>警告</b>	人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。
 <b>注意</b>	けがをしたり財産に損害を受けるおそれがある内容を示しています。

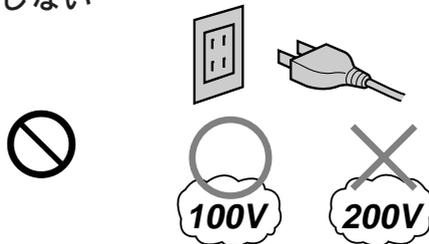
### 図記号の意味

	この記号は 気をつける必要がある ことを表しています。
     	この記号は してはいけない ことを表しています。
 	この記号は しなければならない ことを表しています。

## 警告

### 電源について

AC100V 以外の電源電圧では使用しない



火災・感電の原因となります。

外国では使用しない

この製品を使用できるのは日本国内のみで、外国では電源電圧が異なりますので使用しないでください。  
(This unit cannot be used in foreign countries as designed for Japan only.)



### 雷について

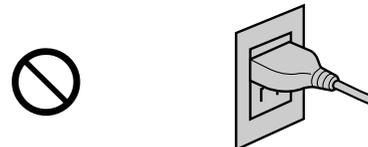
雷が鳴りだしたら…  
安全のため、製品にさわらないでください。



感電の原因となります。

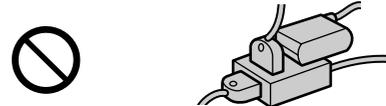
### 電源コードについて

付属以外の電源コードは使用しない



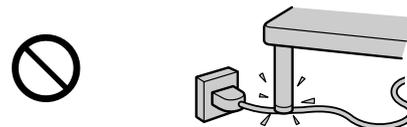
火災・感電の原因となります。

タコ足配線はしない



発熱により、火災の原因となります。

コードを傷つけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っばったり、加熱したり、加工したり、重い物を乗せたりしない



電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。

電源コードが傷ついたときは…  
販売店に交換をご依頼ください

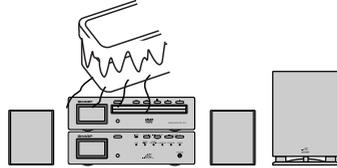


そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

## 警告

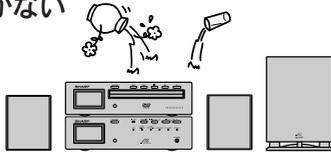
### 内部に物や水などを入れない

風呂場や雨にあたる場所、湿気の多いところでは使用しない



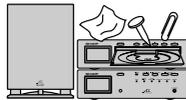
火災・感電の原因となります。

近くに花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器または小さな金属物を置かない



こぼれたり、中に入ると、火災・感電の原因となります。

開口部（ディスク挿入口やスピーカーダクトなど）から金属類や燃えやすい物などを入れない



火災・感電・けがの原因となります。特にお子様のいる家庭ではご注意ください。

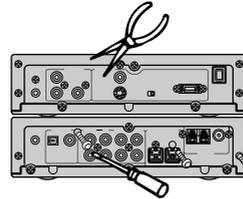
内部に水や異物などが入ったときは…電源を切り、電源コードをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください



そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

### キャビネットについて

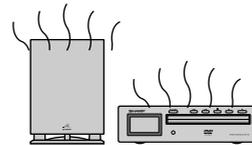
キャビネットを開けたり、改造しない



火災・感電・けがの原因となります。また、レーザー光が目にあたると目を痛める原因となります。内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。

### 高温部への接触について

使用中は、内部から発生する熱により、サブウーハー/アンプユニットやDVDプレーヤーユニットの表面が熱くなります。



長時間触れていると、やけどの原因となることがあります。特にお子様のいる家庭ではご注意ください。また、長時間使用するときには、放熱に注意してください。（P.20～21）

### 異常が起きたら

万一、異常な音がしたり、煙が出たり、変な臭いがするなどの異常な状態に気がついたときは…電源を切り、電源コードをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください



異常な状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。

# 安全に正しくお使いいただくために（続き）

DVD 1-BIT DIGITAL THEATER SYSTEM SD-AT50DV

1 章

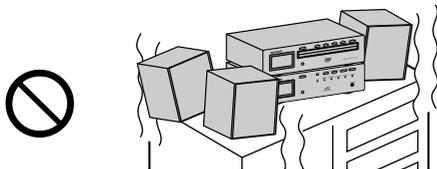
はじめに

安全に正しくお使いいただくために

## ⚠ 注意

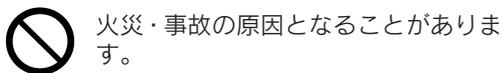
### 置き場所について

不安定な場所に置かない



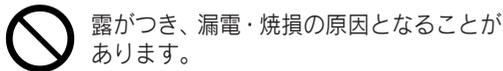
落ちたりして、けがや故障の原因となることがあります。

油煙や湯気が当たるような場所に置かない



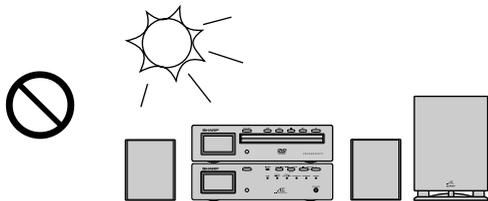
火災・事故の原因となることがあります。

冷気が直接吹きつけるところや、極端に寒い場所に置かない



露がつき、漏電・焼損の原因となることがあります。

直射日光が長時間あたる場所や、暖房器具の近く、火気の近くには置かない



火災・事故の原因となることがあります。

### 電源コードの取り扱いについて

プラグを抜くときはコードを引っばらない



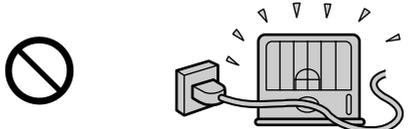
コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

濡れた手でプラグを抜き差ししない



感電の原因となることがあります。

電源コードを熱器具に近づけない



コードの被覆がとけて、火災・感電の原因となることがあります。

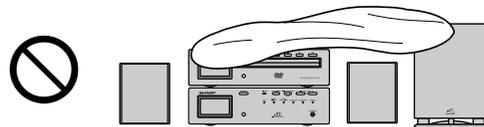
コンセントへの差し込みがぐらついていたり、プラグやコードが熱いときは使用を中止してください



火災・感電の原因となることがあります。

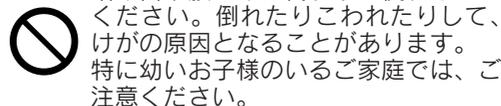
### ご使用について

風通しの悪い状態で使用しない  
また、布や布団でおおったり、つつんだりしない



熱がこもり、キャビネットが変形し、火災の原因となることがあります。

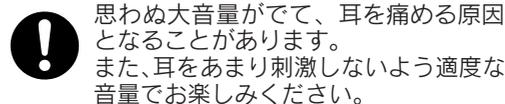
### 製品の上に乗らない



踏み台や腰かけの代わりに使わないでください。倒れたりこわれたりして、けがの原因となることがあります。特に幼いお子様のいるご家庭では、ご注意ください。

### ヘッドホンで聞くときは

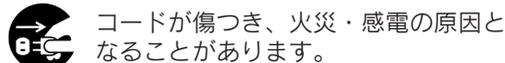
音量の設定に十分気をつける



思わぬ大音量がでて、耳を痛める原因となることがあります。また、耳をあまり刺激しないよう適度な音量でお楽しみください。

### 移動するときは

電源を切り、電源コード・接続コードを抜いてください



コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

**⚠ 注意****特殊な CD について**

特殊形状（ハート型や八角形など）のディスクは使用しないでください。



高速回転によりディスクが飛び出し、けがをするおそれがあります。

**機器の接続について**

他の機器を接続するときは、指定のコードをお使いください。



テレビなど



本体

接続するときは、必ず電源を切り、他の機器の取扱説明書をよく読み、説明に従って接続してください。

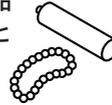
また、付属のコードや指定以外のコードを使用すると、故障の原因となります。

**乾電池の取り扱いについて**

乾電池は誤った使いかたをしますと、感電・破裂・発火の原因となることがあります。また、液もれをして機器を腐食させたり、手や衣類などを汚す原因にもなります。次の点に特に注意してください。



- ・新しい乾電池と一度使用した乾電池を混ぜて使用しない
- ・金属小物（かぎ・装飾品・ネックレス・コイン等）と  
いっしょにポケットや  
かばんなどに入れない
- ・水に濡らさない
- ・加熱したり、火の中へは絶対に投げ込まない
- ・分解しない
- ・ハンダ付けしない
- ・端子をショート（短絡）させない
- ・種類のちがう乾電池を混ぜて使用しない
- ・充電電池（ニカド電池等）は使用しない



- ・乾電池が使えなくなったり、長い間使わないときは、乾電池を全部取り出しておいてください。



- ・乾電池のプラス⊕とマイナス⊖の向きを、表示どおり正しく入れてください。

もし、液がもれた場合は、リモコンについた液をよく拭き取ってから新しい乾電池を入れてください。

万一、もれた液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

**お手入れのときは**

安全のため必ず電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてください



感電やけがの原因となることがあります。

**長期間ご使用にならないときは**

安全のため必ず電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてください



・この製品は厳重な品質管理と検査を経て出荷しておりますが、万一故障または不具合がありましたら、お買いあげの販売店またはもよりのシャープお客様ご相談窓口までご連絡ください。（☎ P.63）

・お客様または第三者がこの製品の使用誤り、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いません。

安全に正しくお使いいただくために

# おもな特長

1 章

はじめに

おもな特長  
著作権について

高解像度サウンドを実現する

## 1 ビットデジタルアンプ技術を採用！

1 秒間に約 280 万回 (約 2.8MHz) の高速サンプリングにより、音の分解能力を飛躍的に向上。音の伝送/増幅を 1 ビットデジタル信号で行い、音の立ち上がりや滑らかさを高品位に再現するほか、アナログ信号での処理に比べ音質劣化の少ないクリアな音質を実現します。

## 1 ビット 5.1ch デジタルアンプの搭載で 高音質 & 300W の大迫力を再現！

総合 300W (50W × 6ch) の 1 ビットデジタルアンプにより、映画や音楽を歯切れの良い臨場感あふれるサウンドで楽しめます。

## いろいろなサラウンド方式を再現する 各種デコーダーを搭載！

高音質再生が可能な DTS サウンドや、TV の地上波放送やビデオテープ / CD などのステレオ信号を 5.1ch で楽しめるドルビープロロジック II デコーダーなど、各種のデコーダーを装備しています。

## コンパクトなニュースタイルで インテリアを演出！

縦置き可能なコンパクトデザインで、スリムな液晶テレビにもマッチするニュースタイルを実現しています。

## 高性能 DVD プレーヤーで 高画質映像を実現！

プログレッシブ回路を搭載した高性能 DVD プレーヤーにより、画面のちらつきを押さえた高画質映像を楽しめます。

# 著作権について

DVD 1-BIT DIGITAL THEATER SYSTEM SD-AT50DV

- ・ディスクを無断で複製、放送、上映、有線放送、公開演奏、レンタル (有償、無償を問わず) することは、法律により禁止されています。
- ・ビデオデッキなどを接続してディスクの内容を複製しても、コピー防止機能の働きにより、複製した画像は乱れます。
- ・本機は、マクロビジョンコーポレーション等が所有する合衆国特許および知的所有権によって保護された、著作権保護テクノロジーを搭載しています。この著作権保護テクノロジーの使用にはマクロビジョンコーポレーションの認可が必要であり、同社の認可がない限りは一般家庭および特定の視聴用に制限されています。解析 (リバースエンジニアリング) または改造は禁止されています。

ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー、Pro Logic 及びダブル D 記号はドルビーラボラトリーズの商標です。

この製品は米国 DTS 社からの実施権に基づき製造されています。合衆国特許 No. 5,451,942, 5,956,674, 5,974,380, 5,978,762。海外特許申請中。  
「DTS」および「DTS デジタルサラウンド」は DTS 社の登録商標です。著作権 1996 年、2000 年 DTS 社。不許複製。

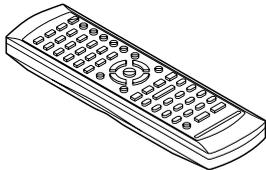
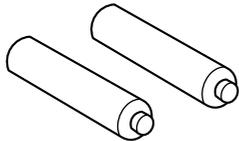
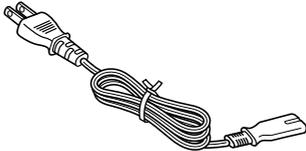
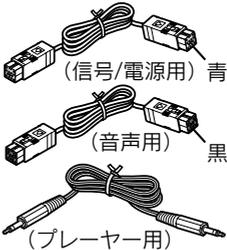
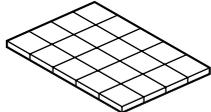
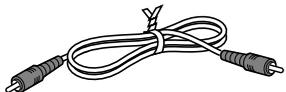
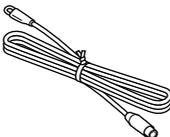
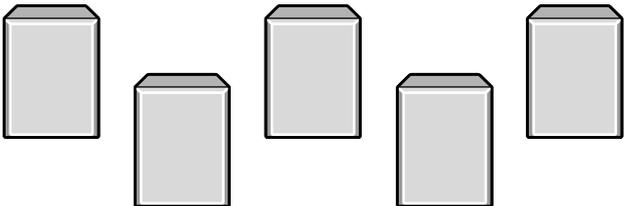
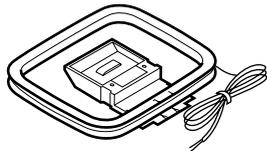
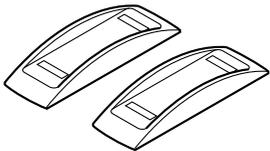
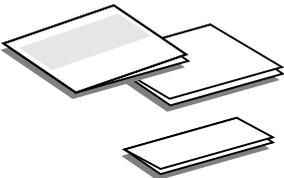
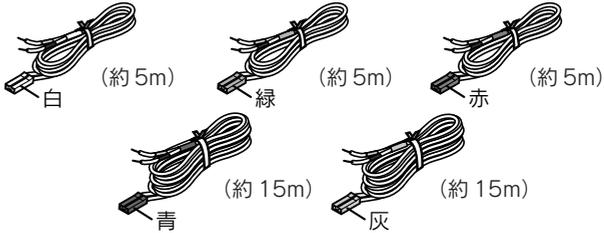
# 付属品について

DVD 1-BIT DIGITAL THEATER SYSTEM SD-AT50DV

付属品がすべてそろっているか、お確かめください。

1 章  
はじめに

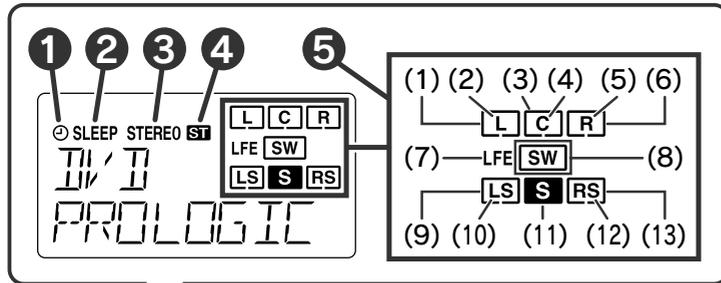
付属品リスト

 <p>リモコン送信機×1</p>	 <p>単3乾電池×2 (リモコン送信機用)</p>	 <p>電源コード×1</p>	 <p>(信号/電源用) 青 (音声用) 黒 (プレーヤー用) システム接続用コード×3</p>	 <p>サテライトスピーカー用 すべり止めシート×20</p>
 <p>映像コード×1 (黄)</p>	 <p>音声用デジタルコード×1 (オレンジ)</p>	 <p>FM用アンテナ×1</p>	 <p>サテライトスピーカー×5</p>	
 <p>AM用ループアンテナ×1</p>	 <p>スタンド×2</p>	 <p>取扱説明書(本書)×1 接続と配置図×1 保証書×1</p>	 <p>(約5m) 白 (約5m) 緑 (約5m) 赤 (約15m) 青 (約15m) 灰 スピーカーコード×5</p>	

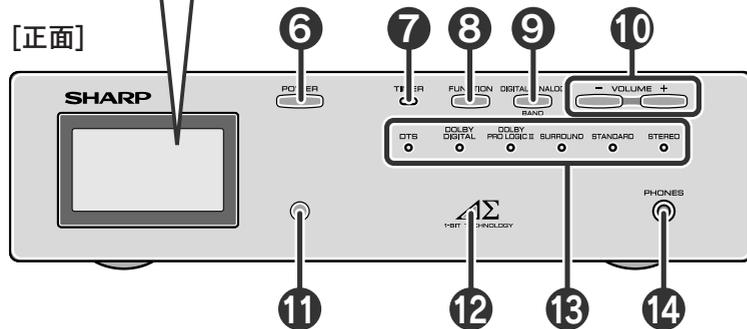
# 各部のなまえ

## AV コントロールユニット

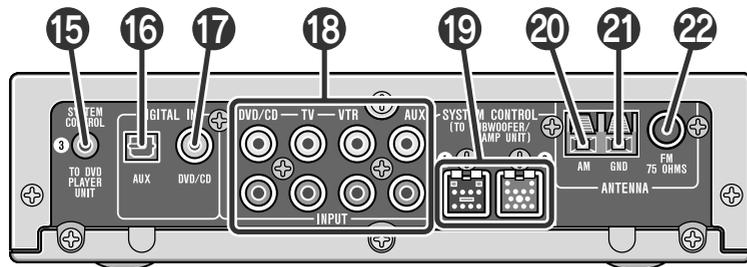
[表示部]



[正面]



[背面]

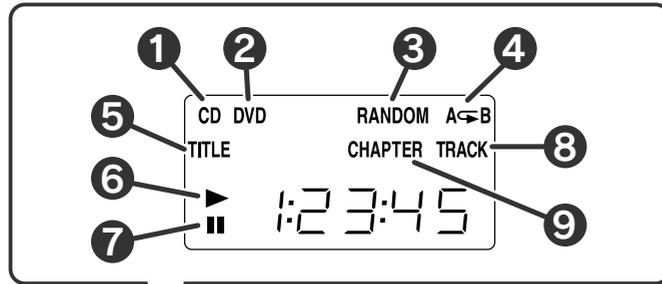


- ① タイマー再生表示
- ② スリープ再生表示 (SLEEP)
- ③ FM ステレオモード表示 (STEREO)
- ④ FM ステレオ受信表示 (ST)
- ⑤ 音声信号表示 / スピーカー表示
 

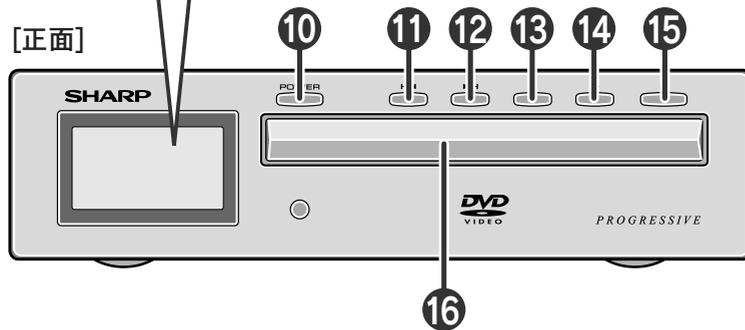
(1) フロントスピーカー「左」表示	(8) サブウーハー表示
(2) フロント「左」信号表示	(9) サラウンドスピーカー「左」表示
(3) センタースピーカー表示	(10) サラウンド「左」信号表示
(4) センター信号表示	(11) サラウンド「モノラル」信号表示
(5) フロント「右」信号表示	(12) サラウンド「右」信号表示
(6) フロントスピーカー「右」表示	(13) サラウンドスピーカー「右」表示
(7) LFE「低域効果」信号表示	
- ⑥ 電源ボタン (POWER) ..... 23、60
- ⑦ タイマー設定表示 (TIMER) ..... 47
- ⑧ 入力切換ボタン (FUNCTION) ..... 26、28、51
- ⑨ デジタル / アナログ / バンド入力切換ボタン (DIGITAL/ANALOG/BAND) ..... 26、51
- ⑩ 音量調整ボタン (- VOLUME +) ..... 29
- ⑪ リモコン受信部 ..... 23
- ⑫ 電源表示 ..... 23
- ⑬ サウンドモード表示ランプ (DTS/DOLBY DIGITAL/DOLBY PRO LOGIC II/SURROUND/STANDARD/STEREO) ..... 41、42
- ⑭ ヘッドホン端子 (PHONES) ..... 29
- ⑮ システム接続端子 (DVD プレーヤーユニット) (SYSTEM CONTROL TO DVD PLAYER UNIT) ..... 16
- ⑯ 光デジタル音声入力端子 (DIGITAL IN AUX) ..... 50
- ⑰ 同軸デジタル音声入力端子 (DIGITAL IN DVD/CD) ..... 16
- ⑱ 音声入力端子 (DVD/CD, TV, VTR, AUX INPUT) ..... 16、19、50
- ⑲ システム接続端子 (サブウーハー / アンプユニット) (SYSTEM CONTROL TO SUBWOOFER/AMP UNIT) ..... 16
- ⑳ AM アンテナ端子 (AM) ..... 16
- ㉑ アース端子 ..... 16
- ㉒ FM アンテナ端子 (FM 75 OHMS) ..... 16

## DVD プレーヤーユニット

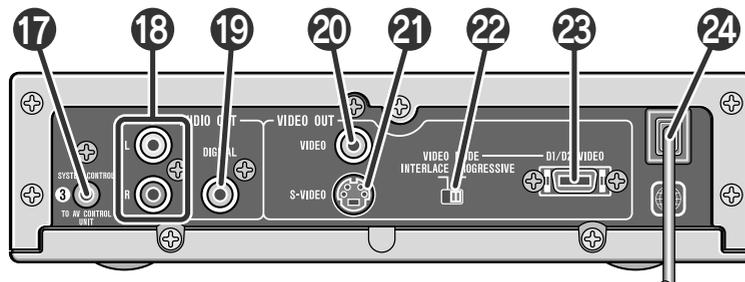
[表示部]



[正面]



[背面]

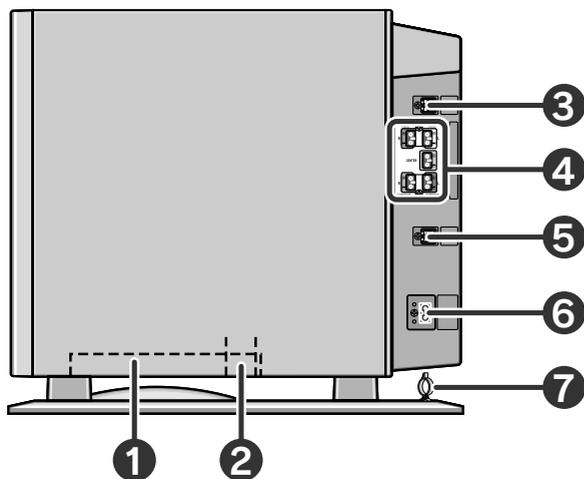


- ① CD 表示 (CD)
- ② DVD 表示 (DVD)
- ③ CD ランダム表示 (RANDOM)
- ④ ディスクリピート、ディスク A - B リピート表示 (A <-> B)
- ⑤ DVD タイトル表示 (TITLE)
- ⑥ ディスク再生表示 (▶)
- ⑦ ディスク一時停止表示 (⏸)
- ⑧ CDトラック表示 (TRACK)
- ⑨ DVD チャプター表示 (CHAPTER)
- ⑩ 電源ボタン (POWER) ..... 23
- ⑪ ディスク早戻し、頭出しボタン (⏮) ..... 30、36
- ⑫ ディスク早送り、頭出しボタン (⏭) ..... 30、36
- ⑬ ディスク停止ボタン (■) ..... 29、32
- ⑭ ディスク再生ボタン (▶) ..... 28、30
- ⑮ ディスクトレイ開閉ボタン (▲) ..... 28
- ⑯ ディスクトレイ ..... 28
- ⑰ システム接続端子 (AV コントロールユニット)  
(SYSTEM CONTROL TO AV CONTROL UNIT) ..... 16
- ⑱ 音声出力端子 (AUDIO OUT) ..... 16
- ⑲ 同軸デジタル音声出力端子 (AUDIO OUT DIGITAL) ..... 16
- ⑳ 映像出力端子 (VIDEO) ..... 18
- ㉑ S 映像出力端子 (S-VIDEO) ..... 18
- ㉒ ビデオモード切換スイッチ (VIDEO MODE) ..... 19
- ㉓ D1/D2 映像出力端子 (D1/D2 VIDEO) ..... 19
- ㉔ 電源コード ..... 22

# 各部のなまえ (続き)

## サブウーハー/アンプユニット

[側面]



参照ページ

- ① サブウーハー
- ② バスレフダクト
- ③ システム接続端子 (AVコントロールユニット)  
システム コントロール コントロール ユニット  
(SYSTEM CONTROL TO AV CONTROL UNIT) ..... 16
- ④ スピーカー端子 ..... 17
- ⑤ システム接続端子 (AVコントロールユニット)  
システム コントロール コントロール ユニット  
(SYSTEM CONTROL TO AV CONTROL UNIT) ..... 16
- ⑥ AC電源端子 (AC インプット INPUT) ..... 22
- ⑦ コードホルダー ..... 22

## サテライトスピーカー×5

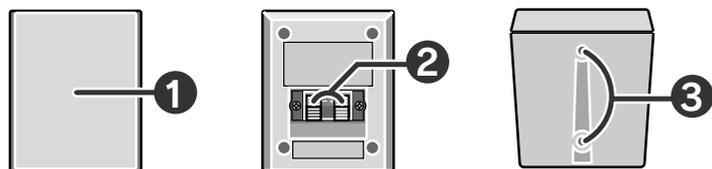
フロント×2：防磁設計  
センター×1：防磁設計  
サラウンド×2：防磁設計

参照ページ

[正面]

[背面]

[底面]

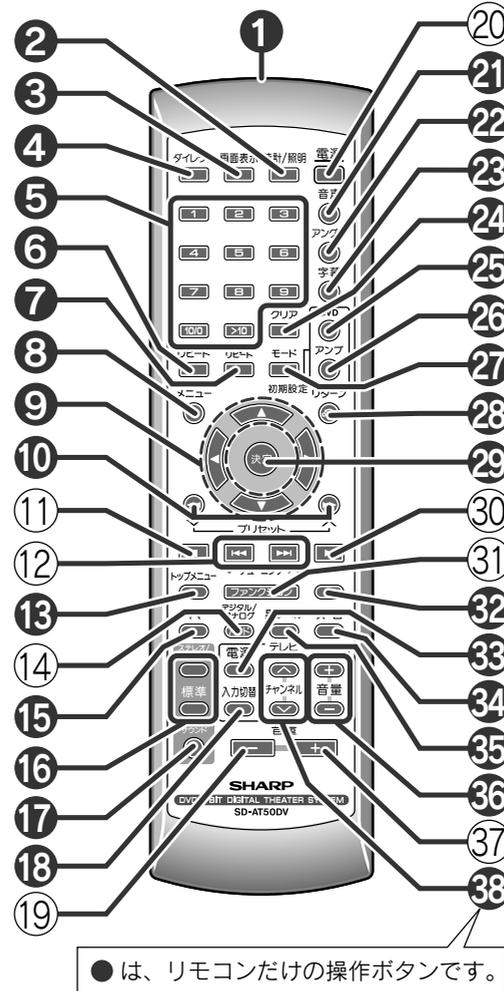


- ① スピーカー
- ② スピーカー端子 ..... 17
- ③ スタンド、壁掛け用スピーカーブラケット (別売品)  
取り付け穴 ..... 20

## リモコン

参照ページ

- ① リモコン送信部 ..... 23
- ② 時計 / 照明ボタン ..... 23、24
- ③ テレビ画面表示切換ボタン ..... 33
- ④ ダイレクトボタン ..... 31
- ⑤ 数字入力ボタン ..... 27、31、43
- ⑥ ディスクリピートボタン ..... 34
- ⑦ ディスクA-Bリピートボタン ..... 34
- ⑧ DVDメニューボタン ..... 39
- ⑨ カーソルボタン  
(◀、▶、▲、▼) ..... 24、31、44
- ⑩ ディスク早送り、早戻し/  
チューナープリセットボタン  
(◀◀、▶▶、▽プリセットへ) ..... 27、30
- ⑪ ディスク停止ボタン (■) ..... 29、32
- ⑫ ディスク頭出し / チューニングボタン  
(◀◀、▶▶、▽チューニングへ) ... 26、30、36
- ⑬ ディスクトップメニューボタン ... 35、36
- ⑭ デジタル / アナログ /  
バンド入力切換ボタン  
(デジタル / アナログ / バンド) ..... 26、51
- ⑮ タイマーボタン ..... 46
- ⑯ サウンドモード切換ボタン  
(ステレオ / サラウンド、標準) ..... 42
- ⑰ ダイナミックサウンド切換ボタン ... 42
- ⑱ テレビ入力切替ボタン ..... 51
- ⑲ 音量-ボタン (-音量) ..... 29



● は、リモコンだけの操作ボタンです。

参照ページ

- ⑳ 電源ボタン ..... 23
- ㉑ DVD 音声切換ボタン ..... 37
- ㉒ DVD アングル切換ボタン ..... 38
- ㉓ DVD 字幕切換ボタン ..... 37
- ㉔ クリアボタン ..... 27、36
- ㉕ DVD 初期設定ボタン ..... 25
- ㉖ アンプ初期設定ボタン ..... 44
- ㉗ モードボタン ..... 33、35
- ㉘ リターンボタン (↶) ..... 25、33、45
- ㉙ 決定ボタン ..... 24、35、44
- ㉚ ディスク再生ボタン (▶) ..... 28、30
- ㉛ 入力切換ボタン  
(ファンクション) ..... 26、28、51
- ㉜ ディスク一時停止ボタン (⏸) ... 29、32
- ㉝ テレビ電源ボタン ..... 51
- ㉞ DVD ズームボタン ..... 38
- ㉟ DVD 黒レベルボタン ..... 38
- ㊱ テレビ音量調整ボタン (-音量+) ..... 51
- ㊲ 音量+ボタン (音量+) ..... 29
- ㊳ テレビチャンネル切換ボタン  
(▽チャンネルへ) ..... 51

## 1 章

はじめに

各部のなまえ

# ディスクについて

1 章

はじめに

ディスクについて

## ■ DVD に表示されているマークについて

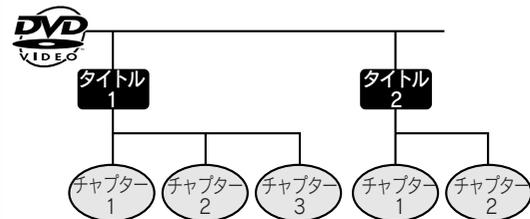
DVD のケースに記載されている機能マークを確認のうえお楽しみください。

表示例	内容
リージョン番号 (再生可能地域番号) 	DVD は、販売される国により、再生できるディスクが決められています。その再生できるディスクの番号を、リージョン番号といいます。 本機で再生できるのは「2」(または「2」を含むもの)と「ALL」の表示があるディスクです。
DVD に記録されている画面サイズ  <div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">4:3</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">16:9 LB</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">16:9 PS</div> </div>	接続するテレビの種類「ワイドテレビ」や「4:3のテレビ」に応じた画面サイズが選べます。  4:3の画面サイズで記録されています。 ワイドテレビではワイド画像を、4:3のテレビではレターボックスサイズ画像を楽しめるように記録されています。 ワイドテレビではワイド画像を、4:3のテレビでは左右をカットした4:3の画像を楽しめるように記録されています。
字幕の種類 (例)  1: 日本語字幕 2: 英語字幕	記録されている字幕言語を表しています。 字幕ボタンで好みの字幕が選べます。
アングル数 	DVD に記録されているアングル数が表示されています。 アングルボタンで好みのアングルが選べます。
音声トラック数や音声記録方式 (例)  1: オリジナル<英語> (DTS 5.1 サラウンド) 2: 日本語 (ドルビーデジタル5.1 サラウンド)	音声のトラック数や音声の記録方式を表しています。 ・ DVD に記録されている音声を音声切換ボタンで切り換えることができます。 ・ 記録されている音声や音声の記録方式は、DVD によって異なります。DVD の取扱説明書で確認してください。

## ● タイトル・チャプターについて

DVD は、「タイトル」と「チャプター」に区切り、構成されています。

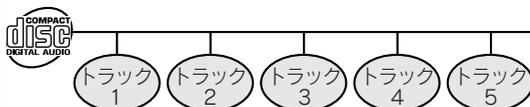
タイトルとは、例えば複数の映画が入っているディスクで各映画ごとをさします。チャプターとは、「タイトル」をさらに細かく分けたものです。



## ● トラックについて

音楽 CD は、「トラック」に区切り、構成されています。

トラックとは、例えば複数の音楽が入っている CD で各曲ごとをさします。



お知らせ .....  
 ディスクによっては、タイトル・チャプター・トラックの番号が記録されていないものがあります。

## ■ 再生できないディスクについて

本機では、次のディスクは再生できません。

- ・リージョン番号の「2」または「ALL」が含まれていないDVD
- ・CDG (くわしくは P.14)
- ・PAL 方式のDVD
- ・SECAM 方式のDVD
- ・MPEG 音声のDVD
- ・DVD-ROM
- ・DVD-RAM
- ・ビデオCD
- ・フォトCD
- ・CD-ROM
- ・SACD
- ・業務用など、特殊なフォーマットで記録されているディスク など

- ・上記のものは、全く再生できないか、映像が出て音が出ない、音が出て映像が出ないことがあります。
- ・誤って再生すると、大音量によってスピーカーを破損したり、ヘッドホン使用時は聴力障害の原因となることがあります。絶対に再生しないでください。
- ・本機はNTSC方式に適合した機器です。海外で製造されたディスクには再生できないものがあります。ご購入の際は、記録方式を確認してください。
- ・正式な販売地域以外のディスクなど、規格を満たさない物があります。そのようなディスクは再生できません。

## ■ コピーコントロールCDについて

本機は、CD規格(コンパクトディスクデジタルオーディオ)に準拠していない「コピーコントロールCD」などについて、動作や音質を保証できません。通常の再生時には支障がなく、上記の特殊なディスクのみに支障がある場合には、ディスクやパッケージ、印刷物などの表示をよくお読みの上、詳細についてはディスクの発売元へお問い合わせ願います。

## ■ 保管上のご注意

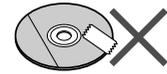
ホコリやキズ、変形などを避けるため、必ず専用ケースに入れ、立てて保管してください。

次のような所に置かないでください。

- ・直射日光が長時間あたる場所。(特に密閉した自動車内等)
- ・温度の高い所や湿度の高い所。
- ・専用ケースの中に砂やホコリが入りやすい場所。(海辺や砂地等)

## ■ 取り扱い上のご注意

- ・ディスクを持つときは、再生面(印刷されていない面)に触れないように、必ずふちを持ってください。再生面のホコリやキズ、変形などは、雑音や動作不良の原因となることがあります。
- ・ケースから出し入れするときは、再生面に触れないようにしてください。
- ・印刷面に硬い鉛筆やボールペンなどで文字を書かないでください。再生面にも影響をおよぼし、動作不良の原因となります。
- ・ラベルやシールを貼らないでください。
- ・セロハンテープやラベルなどののりがはみ出したり、はがしたあとがあるものはお使いにならないでください。そのまま再生すると、故障の原因となることがあります。
- ・特殊形状(ハート型や八角形など)のディスクは、使用しないでください。故障の原因となることがあります。



## ■ ディスクのお手入れについて

ディスクに汚れやキズがあると、映像や音声が乱れることがあります。ディスクを取り出し、汚れを落としてから、再生してください。

- ・再生面に指紋や汚れがついたときは、やわらかい布で、中央からふちの方向にまっすぐに軽くふき取ってください。
- ・汚れがひどいときは、水で少し湿らせた柔らかい布で軽くふき取り、乾いた布でから拭きしてください。
- ・ふちから中央の方向にふいたり、回転方向に回しながらふくとキズがつくことがあります。



次のものは使用しないでください。

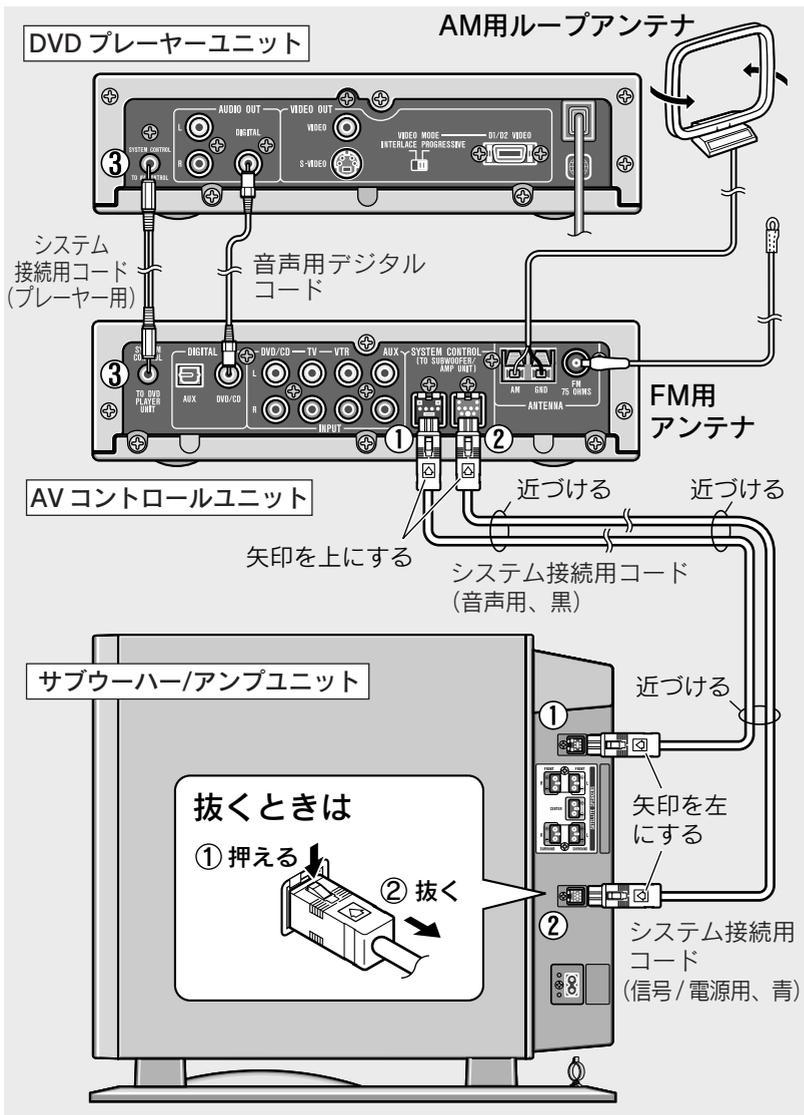
- ・ベンジンやアルコールなどの溶剤
- ・研磨剤を含むクリーナー
- ・レコード用のクリーナー
- ・静電防止剤

# システムを接続する

DVD 1-BIT DIGITAL THEATER SYSTEM SD-AT50DV

## 2章 準備

### システムを接続する



## ■ ユニットをつなぐ

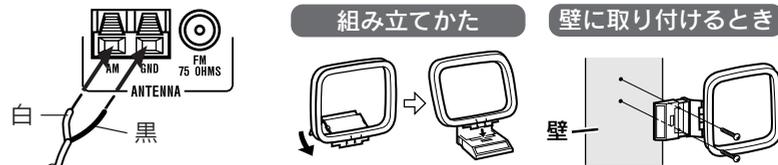
DVD プレーヤーユニット、AV コントロールユニット、サブウーハー/アンプユニットを次のように接続してください。

接続するユニット		使用するコード
AVコントロールユニット ①	↔ サブウーハー/アンプユニット ①	システム接続用コード (音声用、黒)
AVコントロールユニット ②	↔ サブウーハー/アンプユニット ②	システム接続用コード (信号/電源用、青)
AVコントロールユニット ③	↔ DVDプレーヤーユニット ③	システム接続用コード (プレーヤー用)
AVコントロールユニット DIGITAL IN DVD/CD	↔ DVDプレーヤーユニット AUDIO OUT DIGITAL	音声用デジタルコード※ (デジタル信号用)
AVコントロールユニット DVD/CD INPUT L R	↔ DVDプレーヤーユニット AUDIO OUT L R	市販のRCAコード※ (アナログ信号用)

※ 音声用デジタルコードまたは、市販のRCAコードのどちらかを接続してください。接続に合わせリモコンのデジタル/アナログボタンを押し、デジタル信号とアナログ信号を切り換えます。

## ■ アンテナをつなぐ

AM用ループアンテナのコードをAMアンテナ端子へつなぎます。

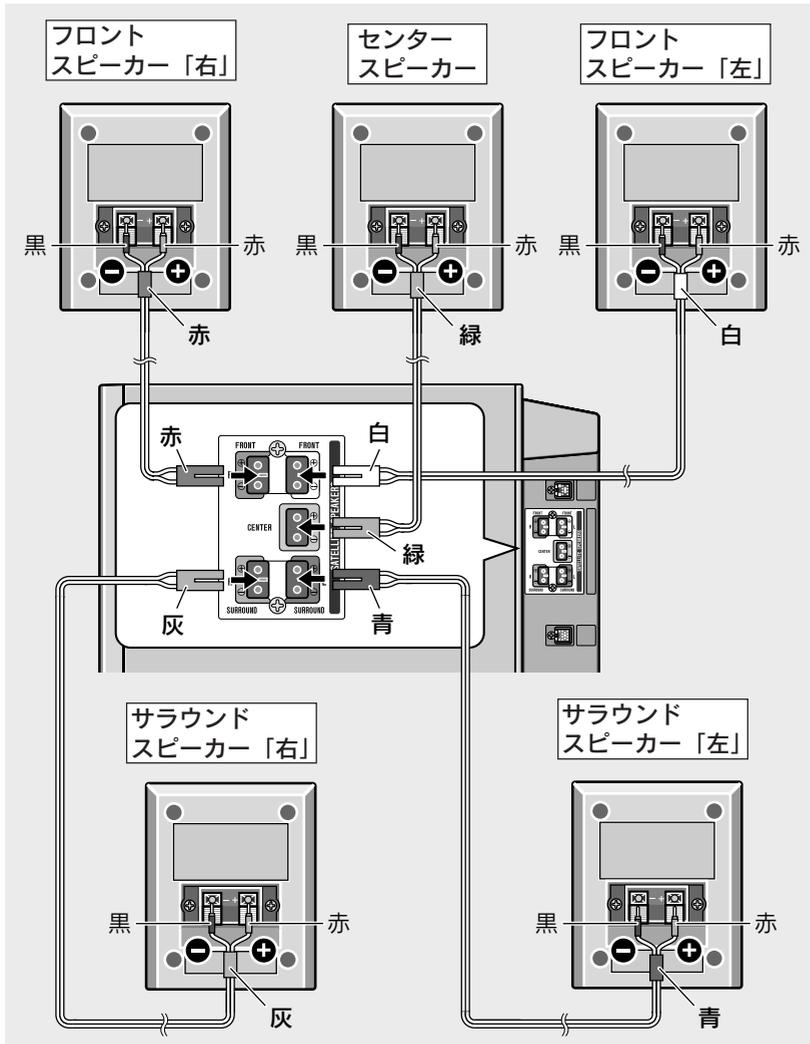


FM用アンテナのコードをFMアンテナ端子へつなぎます。



### ご注意

- ・接続するときは、必ず電源コードを抜いてから行ってください。
- ・FM・AM用アンテナは、本体や電源コード、スピーカーコードから離してください。近づけて使用すると、雑音が入ることがあります。
- ・2本のシステム接続用コード (音声用と信号/電源用) は、お互いに近づけてください。離すと雑音が入ることがあります。

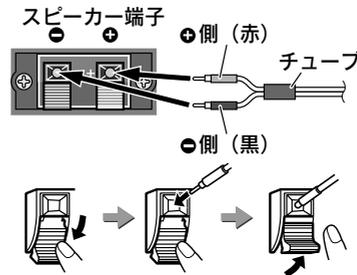


サテライトスピーカーは、すべて同じ性能です。  
どの位置のスピーカーとしても使用することができます。

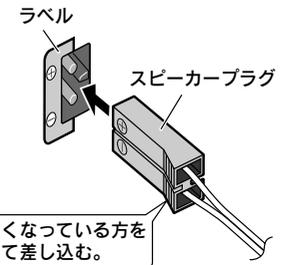
## ■ サテライトスピーカーをつなぐ

サブウーハー/アンプユニットのスピーカー端子ラベルと同じ色のスピーカープラグを接続します。  
サテライトスピーカー側を先に接続し、そのあとサブウーハー/アンプユニット側を接続してください。

### サテライトスピーカー側



### サブウーハー/アンプユニット側

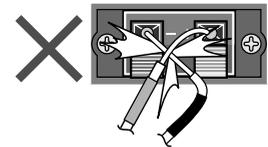


### ご注意

- ・接続するときは、必ず電源コードを抜いてから行ってください。
- ・スピーカープラグには左右の方向があります。まちがえないように差し込んでください。また、プラグは最後まで確実に差し込んでください。
- ・スピーカープラグを本体から外すときは、プラグを持って抜いてください。コードを持って抜くと故障の原因となります。
- ・スピーカーコードの ⊕ (プラス) と ⊖ (マイナス)、左右をまちがえないように接続してください。  
(右スピーカーはセンタースピーカーの正面に向かって右側に置きます。P.20)
- ・スピーカーコードをショートさせないでください。

電源が入っているときに、誤ってスピーカーコードをショートさせてしまうと、保護回路が働いて電源が切れます。このときは、スピーカーコードが正しく接続されていることを確かめたあと、再び電源を入れてください。

- ・本機には必ず付属のスピーカーを使用してください。
- ・スピーカーの上に座ったり、立ったりしないでください。けがの原因となることがあります。



# テレビを接続する

DVD 1-BIT DIGITAL THEATER SYSTEM SD-AT50DV

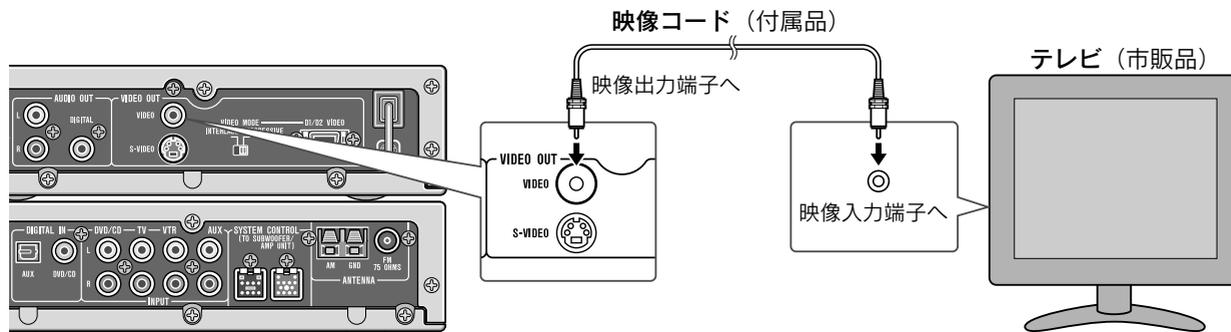
テレビをつなぐには、映像端子またはS映像端子、D端子につなぐ3種類の方法があります。お使いになっているテレビに合わせて接続してください。

## 2章 準備

### テレビを接続する

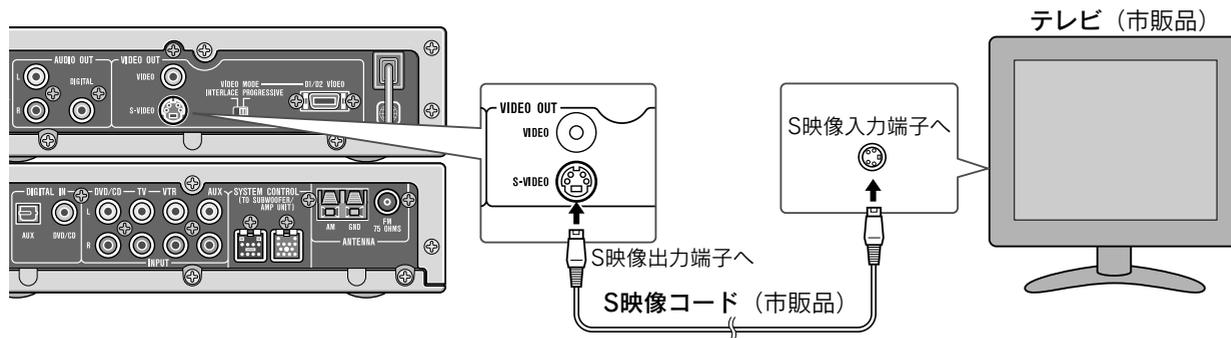
### ■映像入力端子付テレビにつなぐとき

お使いになっているテレビと本機を、映像コードで接続すると映像を楽しむことができます。



### ■S映像入力端子付テレビにつなぐとき

テレビにS映像入力端子があるときは、S映像コードで接続すると、よりきれいな映像を楽しむことができます。(S映像コードは付属されていません。市販品をお買い求めください。)



### ご注意

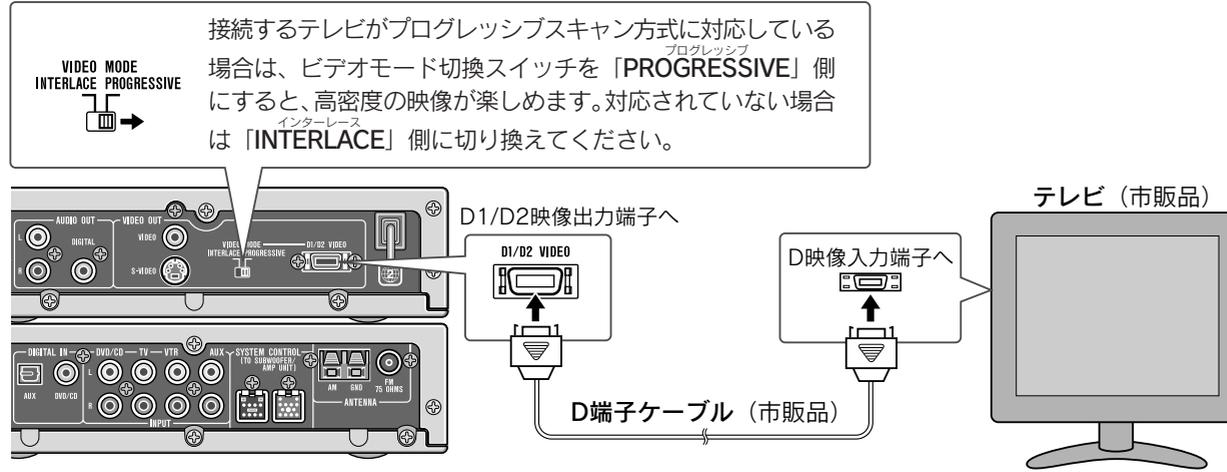
- テレビを接続するときは、それぞれの機器の電源を切った状態で行ってください。
- 映像コードとS映像コードを同時に接続すると通常のテレビではS映像端子が優先されます。

### お知らせ

- テレビ側の入力は、接続した端子に合わせて切り換えてください。
- 本機とテレビの間には、他の機器を接続しないでください。ビデオなどを経由して接続すると、画像が乱れることがあります。

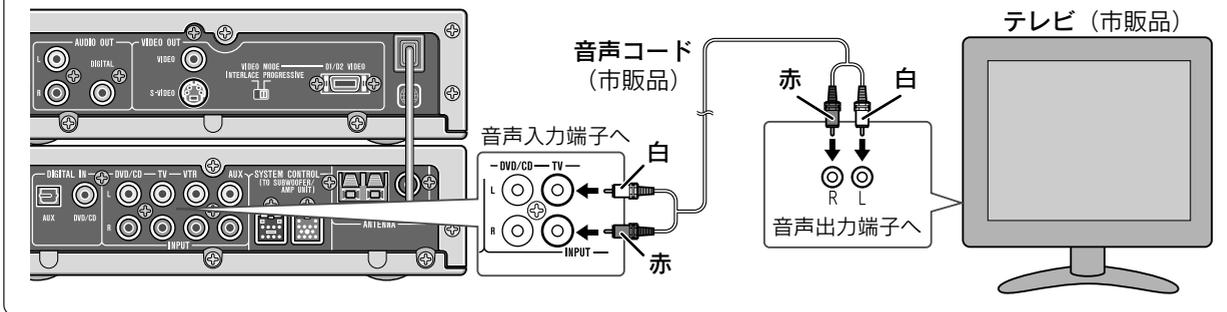
## ■ D 映像入力端子付テレビにつなぐとき

テレビに D 映像入力端子があるときは、D 端子ケーブルで接続すると、DVD の画像をよりきれいに楽しむことができます。(D 端子ケーブルは付属されていません。市販品をお買い求めください。)



## テレビの音声をこの製品のスピーカーで聞くには

音声コードを接続すると、テレビの音声をこの製品のスピーカーで聞くことができます。(音声コードは付属されていません。市販品をお買い求めください。)



**ご注意**.....  
 テレビを接続するときは、それぞれの機器の電源を切った状態で行ってください。

**お知らせ**.....  
 テレビにより、D 映像入力端子の表示が異なることがあります。本機は、D1/D2/D3/D4映像入力端子に接続できますが、機能の一部が制限されることがあります。くわしくはテレビの取扱説明書をごらんください。

## 2 章 準備

### テレビを接続する

プログレッシブスキャン方式について日本やアメリカの従来のテレビ方式では、毎秒 30 コマ (フレーム) の静止画像を連続的に映し出すことによって連続した動き (動画) のように見せています。(インターレーススキャン方式) これに対し、「プログレッシブスキャン方式」では、1つのフレーム情報を 1/60 秒で映し出す方式です。つまり毎秒 60 コマ (フレーム) の情報を映し出しますので、チラツキの少ない高密度の映像になります。

# システムを設置する

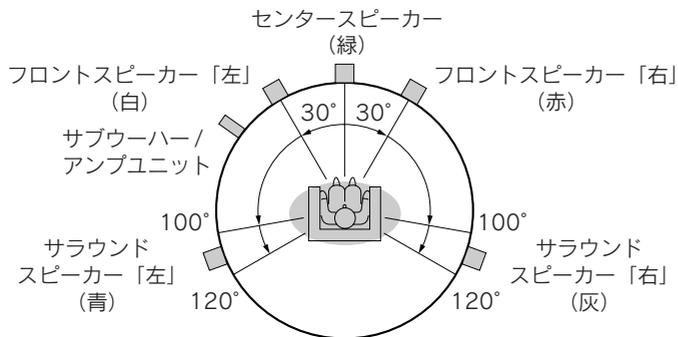
DVD 1-BIT DIGITAL THEATER SYSTEM SD-AT50DV

## 2章 準備

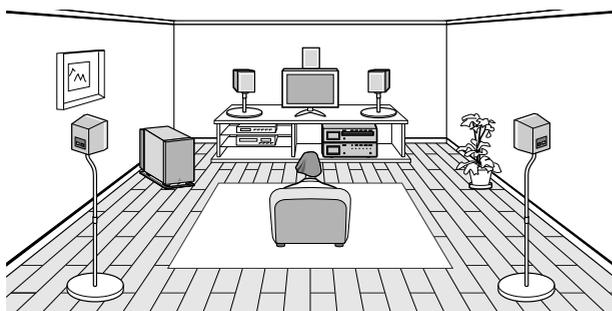
### システムを設置する

#### ■ スピーカーを配置する

サラウンド効果を十分に引き出すために、各スピーカーはお聞きになる位置からなるべく等距離に配置してください。  
また、図のような角度に配置することをおすすめします。各スピーカーは、チューブの色を参考にしてください。



下のイラストは、別売のスピーカースタンドや壁掛け用スピーカーブラケット(☞ P.60)を使用した例です。取り付けかたは、それぞれの取扱説明書をご覧ください。

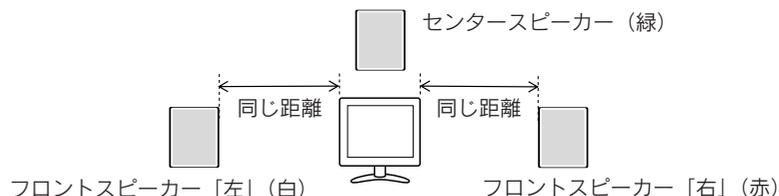


お知らせ.....

- ・お部屋の状況により、各スピーカーを等距離に配置できないときは、「スピーカーディレイの設定」をご覧ください。(☞ P.44)
- ・スピーカーネットは取り外しができません。

#### フロントスピーカー・センタースピーカー

フロントスピーカーは、テレビを中心として左右に配置してください。センタースピーカーは、テレビの近くに置くことをおすすめします。



スピーカーは防磁対応されていますので、テレビの前や横に置くことができます。しかし、使うテレビによってはテレビ画面に色ムラが生じることがあります。

#### テレビ画面に色ムラがおきたら...

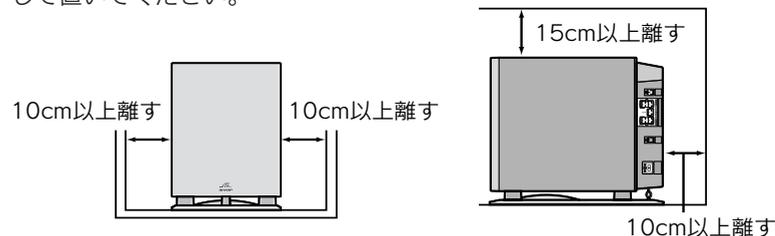
いったんテレビの電源を切り、15~30分後に再び電源を入れてください。それでも色ムラが残るときは、スピーカーをさらにテレビから離してください。(くわしくは、テレビの取扱説明書をご覧ください。)

#### サラウンドスピーカー

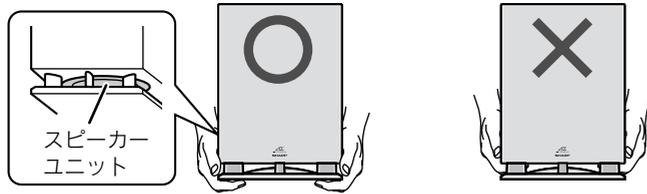
耳の高さよりやや高い位置に配置してください。

#### サブウーハー/アンプユニット

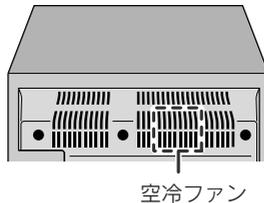
振動しにくいしっかりした床に配置してください。  
このサブウーハー/アンプユニットの天面や背面、側面は熱くなります。放熱をよくするため、サブウーハー/アンプユニットの間は次のように離して置いてください。



**ご注意** .....  
 持ち運ぶときは、下部にあるスピーカーユニットに触れないように注意してください。サブウーハーが破損することがあります。必ずサブウーハー/アンプユニットの底面を持ってください。



サブウーハー/アンプユニットの背面には、放熱をよくするために空冷ファンを内蔵しています。ファンの部分を物でふさがないように注意してください。



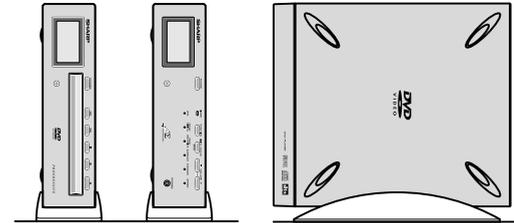
- ・この製品は、5℃～35℃の場所でお使いください。
- ・この製品をパソコン・携帯電話などの機器の近くで使用すると、それらの機器やこの製品に雑音が入ることがあります。そのときは、できるだけ離してください。

#### 高温部への接触について

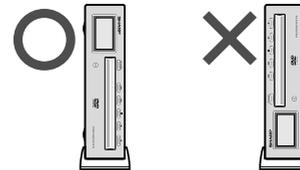
使用中は、内部から発生する熱により、サブウーハー/アンプユニットやDVDプレーヤーユニットの表面が熱くなります。長時間触れていると、やけどの原因となることがあります。特にお子様のいる家庭ではご注意ください。

## ■ AVコントロールユニット、DVDプレーヤーユニットを設置する

AVコントロールユニット、DVDプレーヤーユニットは、重ねて設置したり横置きに設置することができます。また、付属のスタンドを使うと縦に設置することができます。



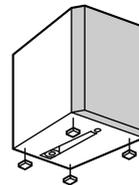
**ご注意** .....  
 ・DVDプレーヤーユニットを縦に設置するときは、表示部が上側になるように設置してください。(縦に設置したときは、8cmディスクは使用できません。)



表示部を下側にして設置すると、ディスクが落下したり取り出せなくなることがあります。

- ・ディスクの再生中に、DVDプレーヤーユニットの設置向き（縦置・横置）を変えないでください。ディスクをキズつけることがあります。

#### スピーカー用すべり止めシートについて



すべり止めシートをフロントスピーカー、センタースピーカーやサラウンドスピーカーの底面に貼り付けてください。  
 (横にしてお使いになるときは、底になる面に貼り付けてください。)

# システムを設置する (続き)

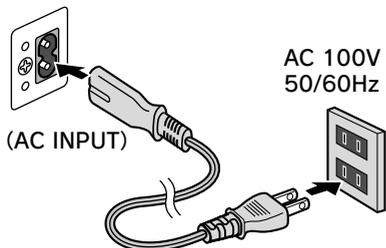
## 2 章 準備

### システムを設置する

#### ■ 電源コードを接続する

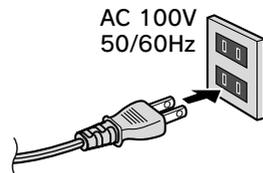
##### サブウーハー/アンプユニット

電源コードを AC 電源端子へ差し込み、家庭用電源コンセントに差し込んでください。



##### DVD プレーヤーユニット

電源コードを家庭用電源コンセントに差し込んでください。



#### ご注意

- ・付属品以外の電源コードは絶対に使用しないでください。故障や事故の原因となります。
- ・電源コードを抜くときは、電源を切ってからプラグを抜いてください。

#### 節電のために

旅行などで長時間使用しないときは、電源コードをコンセントから抜いておきましょう。電源を切っていても、わずかですが電力を消費しています。(長時間電源コードを抜いていると、登録した内容は消え、各種の設定はお買いあげ時の状態に戻ります。)

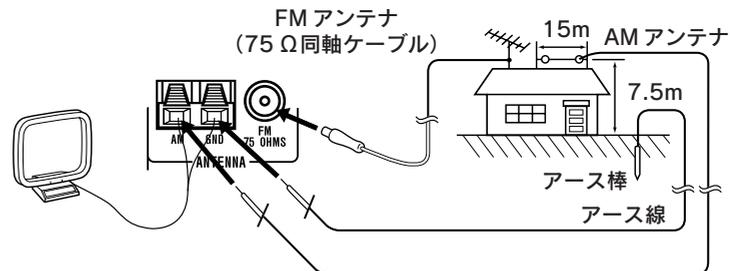
#### 接続したコードの処理について

サブウーハー/アンプユニットに接続したコード類を、コードホルダーで止めてください。



#### ■ 屋外アンテナの接続

付属のアンテナでラジオ放送がきれいに聞こえないときは、屋外アンテナを設置することができます。



- ・アンテナ工事には、技術と経験が必要です。また、高い所での作業は危険です。設置するときは、販売店に相談してください。
- ・AM用外部アンテナを接続するときは、AM用ループアンテナを接続したままにしておいてください。

#### 屋外アンテナの設置場所について

- ・放送局の送信アンテナがある方向に立てます。
- ・ビルや山のかげなど、障害物がある所では、最もよく受信できる所に立てて方向も変えてみます。
- ・自動車や電車の雑音が入らないよう、道路や線路から離れた所、またはそれが見えない所に立てるようにしてください。
- ・送電線の下には立てないでください。送電線にアンテナが触れると大変危険です。
- ・落雷のおそれがありますので、あまり高い所には立てないでください。

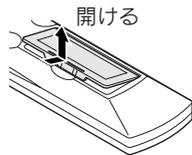
#### アース棒について

アースの接続(接地)は、万一の感電事故を防止することができます。アース棒を地中に埋めるか、または鉄製の水道管につないでください。危険ですので、ガス管にはつながないでください。

# リモコンの使いかた

## ■ 乾電池を入れる

① 電池ブタを開ける。



② 単3乾電池を2本入れる。

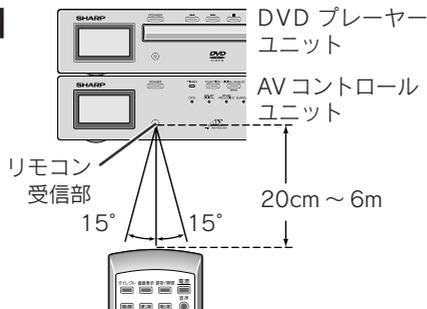


ご注意 .....

- ・乾電池の方向に注意して入れてください。
- ・⊕、⊖をまちがえると、故障の原因となります。
- ・リモコンには充電電池（ニカド電池など）を使用しないでください。充電電池では正しく動作しません。

## ■ リモコンの使える範囲 (目安)

リモコン用乾電池の寿命は通常のご使用で約1年です。リモコン受信部に近よらないと動作しなくなったときは、乾電池を交換してください。DVDプレーヤーユニットを操作するときもAVコントロールユニットのリモコン受信部に向けてください。



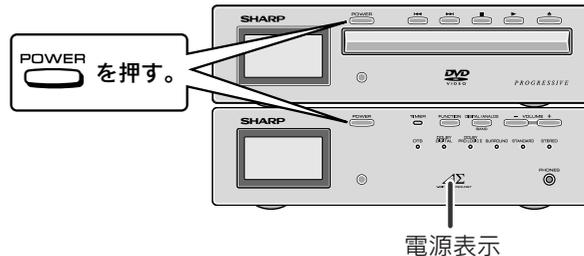
ご注意 .....

- ・リモコン受信部に強い光が当たる場所では使用しないでください。誤動作の原因となります。
- ・リモコン受信部や送信部にシールなどを貼ったり、本体とリモコンの間には障害物などを置かないでください。リモコンの操作ができなくなることがあります。

# 電源を入れる

DVD 1-BIT DIGITAL THEATER SYSTEM SD-AT50DV

## ■ 電源の入れかた



電源表示が点灯します。  
電源が入らないときは、電源コードが正しくつながっているか確認してください。

お知らせ .....

- ・DVDプレーヤーユニットのPOWERを押すと、両ユニットの電源が入ります。
- ・AVコントロールユニットのPOWERまたはリモコンの電源を押すと、次のようになります。  
入力が「DVD」になっているとき： 両ユニットの電源が入ります。  
入力が「DVD」になっていないとき： AVコントロールユニットのみ電源が入ります。

## ■ 表示部の明るさを変える



● 入力がDVD以外のとき

電源を入れて…  
時計/照明  
OFF を2秒以上押す。  
(「OFF」を表示して文字が暗くなります。)

もう一度、時計/照明  
ON を2秒以上押すと、  
「ON」を表示して文字が明るくなります。

● 入力がDVDのとき

「DVDの初期設定」の「表示パネル」の設定に合わせて、明るさが変わります。(P.53)

2章  
準備

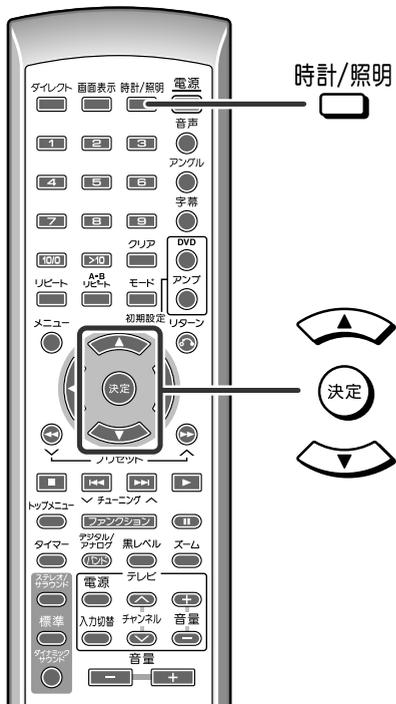
電源を入れる  
リモコンの使いかた

# 時計を合わせる

時刻を合わせると、時計としてはもちろん、タイマー再生することができます。

## 2章 準備

### 時計を合わせる



例) 午前9時30分に合わせるとき

**1** 時計/照明 を押す。

**2** 5秒以内に…  
決定 を押す。

**3** または を押し、「時」を合わせ  
決定 を押す。   
「時」を合わせる

時刻は12時間制で表示されます。  
午前 (AM) / 午後 (PM) の表示に注意してください。  
AM 0:00 → 夜の12時    PM 0:00 → 昼の12時

**4** または を押し、「分」を合わせ  
決定 を押す。   
「分」を合わせる

時計が動作し始めます。  
約2秒たつと、もとの表示に戻ります。

### 時刻を修正するには

操作1からやり直してください。

- 操作1では修正前の時刻が表示されます。
- 操作2から4は同じ手順です。

### 時刻を確認するには

電源が「OFF」のときに…  
時計/照明 を押す。

時刻が表示されて、約5秒たつと消えます。

電源が「ON」のときに…  
時計/照明 を押す。

約5秒間表示し、もとの表示に戻ります。

**ご注意**.....  
電源コードを抜いたり、停電があったときなどは、時計の設定は消えてしまいます。  
時計を合わせ直してください。

**お知らせ**.....  
電源が「OFF」のときでも時計を合わせることができます。

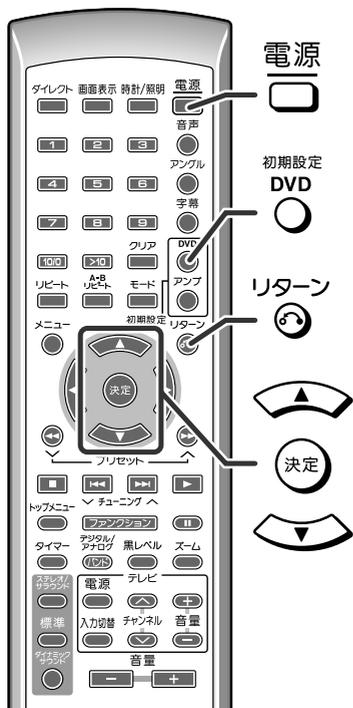
# テレビ画面サイズを設定する

DVD 1-BIT DIGITAL THEATER SYSTEM SD-AT50DV

お買いあげ時は、**[4:3]**のテレビ（ワイドテレビではないテレビ）の画面サイズになっています。ご使用のテレビがワイドテレビのときは、画面サイズの設定をしてください。

**[4:3]**のテレビを接続したときは、この設定は不要です。

テレビの電源を入れ、本機との接続に合わせてテレビの入力切換を「ビデオ1・ビデオ2」などに設定してください。



## 1 電源 を押す。

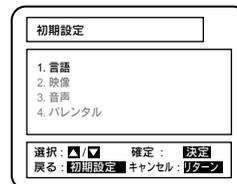
- ・スタートアップ画面が表示されます。
- ・スタートアップ画面が表示されないときは、入力を「DVD」にしてください。
- ・ディスクは停止状態にしてください。



## 2 章 準備

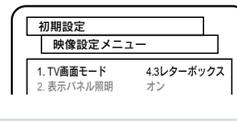
## 2 初期設定 を押す。

初期設定画面が表示されます。



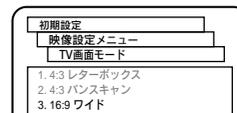
## 3 または を押して、「映像」を選び を押す。

## 4 または を押して、「TV画面モード」を選び を押す。



## 5 または を押して、「16:9ワイド」を選び を押す。

16:9ワイドに設定されます。  
設定の変更中に  を押すと、一つ前の画面に戻ります。



## 6 初期設定 を押す。

スタートアップ画面に戻ります。

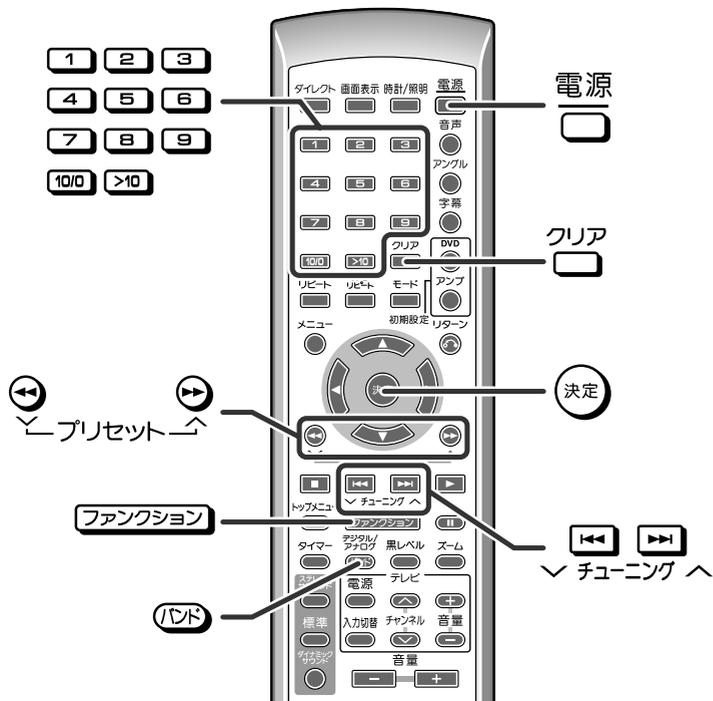
テレビ画面サイズを設定する

# ラジオ放送を聞く

DVD 1-BIT DIGITAL THEATER SYSTEM SD-AT50DV

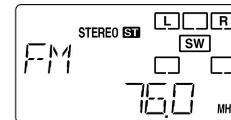
## 3 章 基本

### ラジオ放送を聞く



1 電源 を押す。

2 を押して、入力を「FM (AM)」にする。  
(DVDプレーヤーユニットの電源は自動的に切れます。)



3 を押して、<sup>ステレオ</sup>“FM STEREO”、“FM” または “AM” を選ぶ。

4 または を押して、放送局を選ぶ。

自動同調： ボタンを0.5秒以上押し続けて離すと、電波の強い放送局を自動的に受信します。

手動同調： ボタンを小さく押し、希望する放送局を受信します。テレビ音声は次の周波数で受信できます。

- 1チャンネル : FM 95.75MHz
- 2チャンネル : FM 101.75MHz
- 3チャンネル : FM 107.75MHz

音量を調整する P.29

#### FM ステレオ放送の受信について

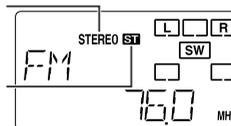
STEREO 表示 (点灯)	FM ステレオモードです。
STEREO 表示 (消灯)	FM モノラルモードです。

FM ステレオ放送を受信すると “**ST**” 表示が点灯します。

FMステレオ放送を受信しても電波が弱いと “**ST**” が点灯しません。このときは、音が出ませんので、FMモノラルモードに切り換えて受信してください。

FM ステレオ  
モード表示

FM ステレオ  
受信表示



## ■ 放送局を登録するには

放送局は、AM 放送・FM 放送を合わせて、40 局まで登録できます。

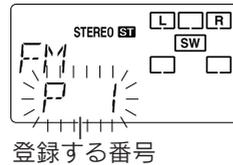
### ① 登録したい放送局を受信する。

FM 放送のときは、ステレオ・モノラルのモードも記憶されます。

### ② を押して、登録モードにする。

### ③ 5 秒以内に…

 または  を押して、登録する番号を選ぶ。

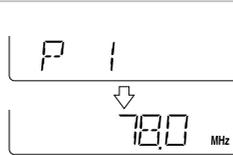


登録する番号

### ④ 5 秒以内に…

 を押す。

すでに登録されている番号に登録すると、前の登録内容は消えます。

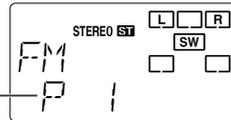


他の放送局を登録するには、操作 1 からの手順をくり返します。

## ● 登録した放送局を呼び出すには

リモコンの  または  を押して、登録した番号を選ぶ。

登録した番号



.....  
リモコンのダイレクトボタンを使うと便利です

1～10 局目…  ～  で登録した番号を選ぶ。

11～40 局目…  を押したあと、登録した番号を選ぶ。

例) 28 局目    ボタンを続けて押すときは、5 秒以内に操作してください。

## ● 登録した放送局をすべて消すには

①  を 3 秒以上押す。

② 「<sup>クリア</sup>CLEAR」が表示されたら  を押す。

## ■ アンテナを調整するには

### FM 用アンテナ

放送が最もよく聞こえる位置に変えてください。

### AM 用ループアンテナ

放送が最もよく聞こえる方向にしてください。



接続のしかたは、16 ページをごらんください。

## お知らせ .....

- ・自動同調しているとき、周囲に妨害電波があると、そこで停止することがあります。  
そのときは、手動同調をお使いください。
- ・この製品のテレビ音声受信回路は、FM 放送受信回路と兼用しています。  
このため、地域によっては、テレビの 2 または 3 チャンネルの音声を受信したときに、FM 放送が混信することがあります。
- ・テレビ音声多重放送は受信できません。
- ・テレビ音声や AM 放送は、モノラルで受信されますので、ステレオにはなりません。
- ・テレビ音声を受信中に“ブー”という音がしたり、同調が不安定になったときは、アンテナを再度調整してください。
- ・日本国内の FM 放送は、76～90MHz が使用されていますが、この製品はテレビ音声を受信するために、108MHz まで受信することができます。

# ディスクを再生する

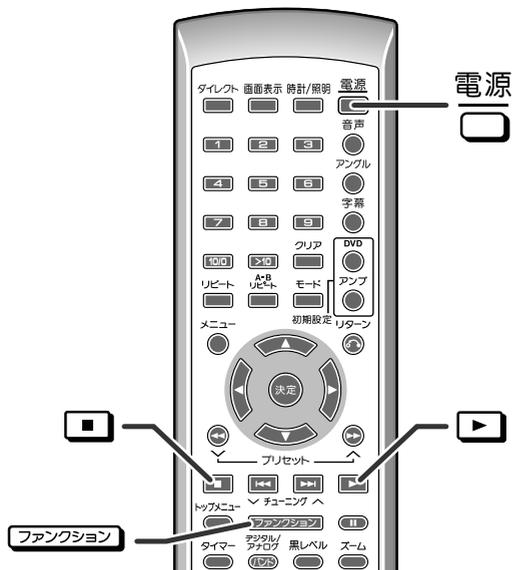
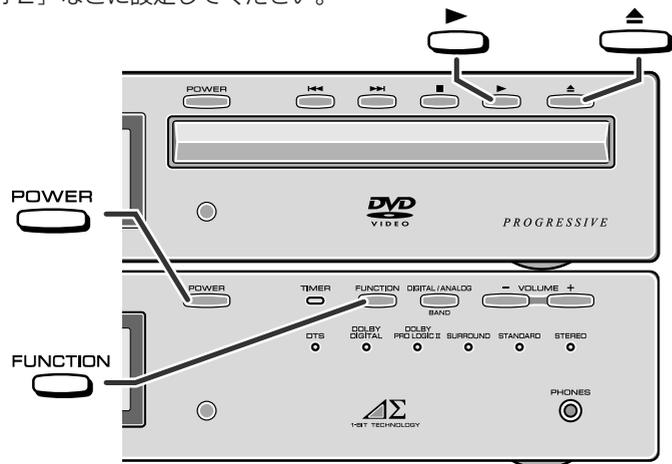
DVD 1-BIT DIGITAL THEATER SYSTEM SD-AT50DV

テレビの電源を入れ、本機との接続に合わせてテレビの入力切換を「ビデオ1・ビデオ2」などに設定してください。

**DVD** **CD** **MP3**

## 3章 基本

### ディスクを再生する



## 1 AVコントロールユニットのPOWERまたはリモコンの電源を押す。

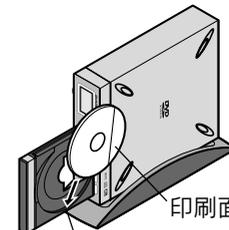
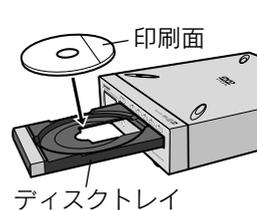
DVDプレーヤーユニットのPOWERを押すと、入力は自動的に「DVD」になります。

## 2 入力が「DVD」になっていないときは… FUNCTIONを押して、入力を「DVD」にする。

- ・スタートアップ画面が表示されます。
- ・音楽CDを再生するときも「DVD」を選びます。
- ・リモコンの□を押しても入力は「DVD」になります。



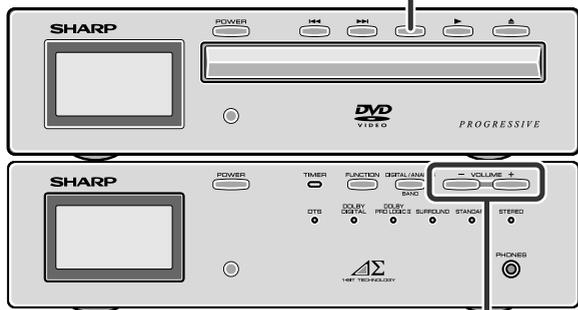
## 3 印刷面を押して、ディスクトレイを開けディスクを入れる。



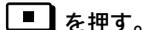
- ・もう一度印刷面を押すと、ディスクトレイが閉まります。(オートプレイのディスクを入れたときは、再生が始まります。)
- ・DVDプレーヤーユニットの表示部を下側にして設置すると、ディスクが落下したり取り出せなくなることがあります。

## 4 操作3で再生が始まらないときは… 印刷面を押す。

## 再生の停止



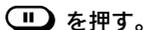
## 音量の調整

再生の停止  
再生中に…

を押す。

## 再生の一時停止

再生中に…

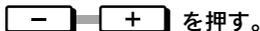


を押す。

▶ ボタンを押すと、停止したところから再生します。

## 音量の調整

音量



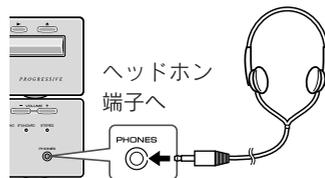
を押す。



音量0(小)~40(大)

## ■ ヘッドホンを使う

ヘッドホンをつないだり、抜いたりするときは、音量を下げてください。



- ・ヘッドホンをつなぐと、すべてのスピーカーから音は出なくなります。
- ・インピーダンス16~50Ω(推奨32Ω)で、直径3.5mmステレオミニプラグ付のヘッドホンをお使いください。
- ・プラグは確実に差し込んでください。
- ・ヘッドホンにはサラウンドは動きません。



## 音のエチケット

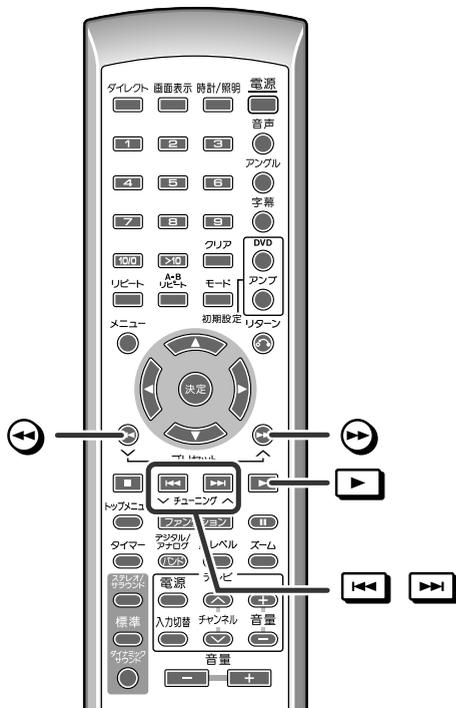
- ・楽しい音楽も場所によっては気になるものです。ご近所のご迷惑にならないよう、十分気をつけましょう。
- ・夜間にお使いになるときは、ご近所のご迷惑にならないよう、音量を小さくするか、ヘッドホンでお楽しみください。
- ・ヘッドホンをご使用になるときは、耳をあまり刺激しないよう音量を小さくしてお楽しみください。

## ご注意

- ・ディスク交換時以外はディスクトレイを閉めておいてください。内部にホコリが入り故障の原因となります。
- ・長時間使用すると、本機は熱くなりますが、故障ではありません。
- ・ディスクにキズがあったり、再生できないディスクを入れたときや、リージョン番号の違うディスクを再生しようとしたとき、視聴制限(※1)により制限されたディスクを再生しようとする、エラーメッセージがテレビ画面に表示され、再生されません。
- (※1) DVDの中には、視聴者の年齢に合わせて、ディスクを見るための制限をしているものがあります。

## お知らせ

- ・電源を入れたときや、他の入力から「DVD」に切り換えたときは、本機がDVDの初期設定を行っていますので、約5秒間は操作を受け付けません。
- ・特殊なディスクを再生したとき音量を上げすぎると、保護回路が働き、電源が切れることがあります。このようなときは、音量を下げてください。
- ・ディスクによっては、停止位置が記録されているものがあります。このようなディスクを再生すると、記録されている位置で自動的に停止します。
- ・操作中、テレビ画面に「Ⓢ」マークが表示されることがあります。これは、ディスク側で操作を禁止していることを表します。
- ・停止ボタンを押したあと、5分以上操作しないと自動的にスクリーンセーバー機能が働き、さらに30分以上操作しないと電源が切れます。



## ■ チャプター（トラック）の頭出しをする（スキップ）

再生しているチャプター（トラック）をとばして、次のチャプター（トラック）を再生することができます。

1 再生中に…

⏮ または ⏭ を押す。

- ・ ⏮ を押すと、次のチャプター（トラック）が再生されます。
- ・ ⏭ を押すと、チャプター（トラック）の頭から再生し、続けて押すと前のチャプター（トラック）が再生されます。

## ■ 早送り/早戻しをする（サーチ）

再生しているところを確認しながら、さがすことができます。

1 再生中に…

🔍 または 🔍 を押す。

例) 🔍 を押したとき

- ・ 押すたびに次のようにサーチ速度が変わります。  
×2(約2倍速) → ×8(約8倍速)  
↓  
×60(約60倍速) ← ×30(約30倍速)
- ・ 🔍 で進み、🔍 で戻ります。

2 通常の再生に戻すには、⏮ を押す。

DVD CD MP3

お知らせ .....

- ・ ディスクによってはスキップが禁止されているものがあります。また、チャプター（トラック）表示をしないものがあります。
- ・ DVDでは、タイトルをまたぐスキップはできません。
- ・ DVDプレーヤーユニットの 🔍 または 🔍 を押しても操作することができます。

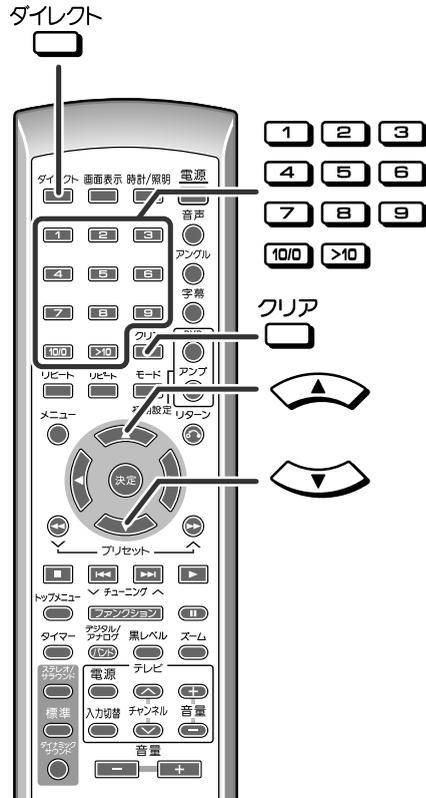
DVD CD

お知らせ .....

- ・ ディスクによっては、サーチが禁止されているものがあります。
- ・ DVDではタイトルをまたぐサーチはできません。
- ・ DVDでは早送りや早戻し中は音声や字幕が再生されません。
- ・ 音楽CDのときのサーチ速度は、16倍速のみです。サーチ中に音声途切れて再生されますが、故障ではありません。
- ・ DVDの再生中に早送りや早戻しをしたとき、ディスクや再生しているシーンによっては、映像が本書に記載のサーチ速度にならないことがあります。
- ・ DVDプレーヤーユニットの 🔍 または 🔍 を2秒以上押し続けても操作することができます。

## 好きなところから再生する (ダイレクト再生)

好きなチャプター (トラック) またはタイトルから再生するには  
好きなチャプター (トラック) やタイトルを選んで再生することができます。



### 1 停止中や再生中に… **ダイレクト** を押す。

例) DVD 再生中の表示



例) CD 再生中の表示



### 2 30 秒以内に…

**チャプター (トラック) を選ぶ場合**  
数字入力ボタン (0~9) で入力する。

**タイトルを選ぶ場合**

**▲** または **▼** を押して「**T**」を選び、数字入力ボタン (0~9) で入力する。

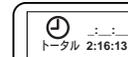
タイトル番号を入力すると、カーソルは自動的にチャプター番号入力になります。

例 チャプター 1 : **10/0** **1**  
チャプター 12 : **1** **2**

## 時間を指定して再生するには (タイムサーチ)

時間を指定すると、選んだところから再生することができます。

### 1 再生中に… **ダイレクト** を 2 回押す。



### 2 30 秒以内に…

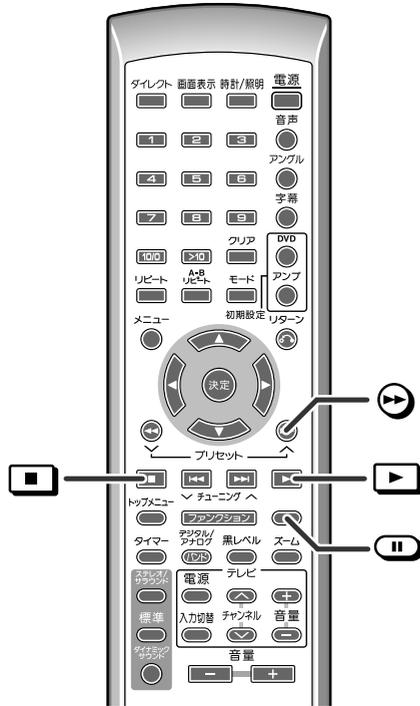
数字入力ボタン (0~9) で入力する。

- ・1時間23分40秒を指定するには、「12340」と入力してください。
- ・数字をまちがえたときは、**クリア** を押し、再度入力をしてください。



### お知らせ .....

- ・ディスクによっては、ダイレクト再生ができないことがあります。
- ・ディスクによっては、チャプター番号が表示しないものがあります。
- ・チャプター (トラック) 番号を選ぶときは、数字入力ボタンだけでも選ぶことができます。2桁以上のトラック番号を選ぶときは **20** を押してから番号を入力します。  
例 チャプター 14 : **20** **1** **4**
- ・DVD の場合、再生中のタイトルの中でのタイムサーチはできますが、他のタイトルへのタイムサーチはできません。
- ・音楽 CD の場合、トラックの中でのタイムサーチはできますが、CD 全体としてのタイムサーチはできません。
- ・ディスクによっては、指定した時間からの再生ができないものがあります。
- ・特定の時間だけの再生ができないディスクがあります。
- ・停止中は、タイムサーチができません。



## ■ 停止した位置から続けて再生する (つづき再生)

DVD CD

映像を停止した位置から再生することができます。

- ① 再生中に…  を押す。  
停止した位置を記憶します。
- ②  を押す。  
停止した位置から再生されます。

 を 2 回押すと、つづき再生を解除することができます。

お知らせ .....

- ディスクによっては、つづき再生ができないものがあります。
- ディスクによっては、停止位置の少し前から再生されることもあります。

## ■ 静止画 / コマ送りで見る (静止画再生 / コマ送り再生)

DVD

画像を静止させることができます。また、静止画再生のときは、コマ送りすることもできます。

- ① 再生中に…  を押す。  
押すたびにコマ送りされます。
- ② 通常の再生に戻すには、 を押す。

お知らせ .....

ディスクによっては、静止画再生やコマ送り再生が禁止されているものがあります。

## ■ スローモーションで見る (スロー再生)

DVD

再生する速度を遅くさせることができます。

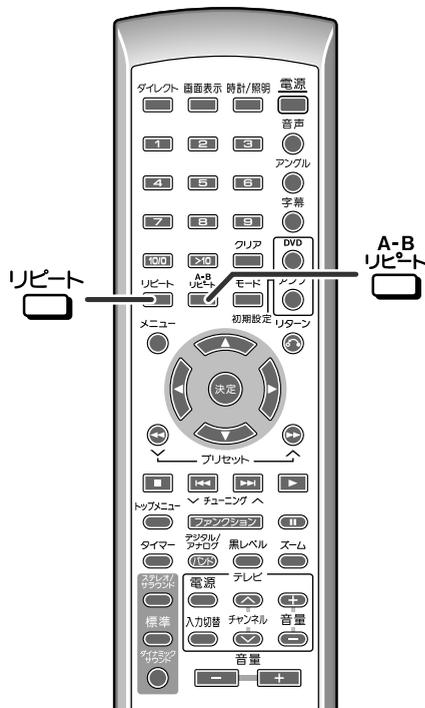
- ① 再生中に…  を押す。
- ② 静止画再生中に…  を押す。  
押すたびに次のように再生速度が変わります。  
× 1/16 (約 1/16 倍速) → × 1/8 (約 1/8 倍速) → × 1/2 (約 1/2 倍速)
- ③ 通常の再生に戻すには、 を押す。

DVD プレーヤーユニットの  を 2 秒以上押しても操作することができます。

お知らせ .....

ディスクによっては、スロー再生が禁止されているものがあります。





## ■ くり返して再生する (リピート再生)

再生中にチャプター (トラック) やタイトルなどを選んでくり返し再生することができます。

1 再生中に… **リピート** を押す。

押すたびにリピート再生モードは次のように変わります。

**DVD の場合**

「オフ」 → 「チャプター」 → 「タイトル」

**音楽 CD の場合**

「オフ」 → 「トラック」 → 「オール」

**MP3 の場合**

「オフ」 → 「トラック」 → 「アルバム」 → 「ディスク」

2 通常の再生に戻すには、**リピート** をくり返し押して「オフ」を選ぶ。

**DVD** **CD** **MP3**

**ご注意**.....  
リピート再生は、停止をするまでくり返します。  
切り忘れに注意してください。

**お知らせ**.....  
• ディスクによっては、リピート再生が禁止されているものがあります。  
• 音楽 CD のプログラム/ランダム再生中に **リピート** を押し、「オール」にするとプログラム/ランダム再生が繰り返されます。  
• リピート再生中に、他のボタンを押すとリピート再生が解除されることがあります。

## ■ 指定した位置間をくり返して再生する

(A-B リピート再生)

再生中に、指定した位置間をくり返して再生することができます。

1 再生中に… **A-B リピート** を押す。

くり返したいはじめの位置(A)が登録されます。

2 もう一度… **A-B リピート** を押す。

くり返したい終わりの位置(B)が登録され、A - B 間がくり返して再生されます。

3 通常の再生に戻すには、**A-B リピート** を押す。

**DVD** **CD**

**お知らせ**.....  
• ディスクによっては、A-B リピート再生が禁止されているものがあります。  
• DVD の A-B リピート再生は同じタイトルの中で行ってください。  
• 音楽 CD の A-B リピート再生は同じトラックの中で行ってください。  
• DVD の場面によっては、A-B リピート再生ができないことがあります。

CD MP3

お知らせ .....

- ディスクによっては、ランダム再生が禁止されているものがあります。
- 全曲のランダム再生が終わると自動的に停止します。
- 再生中や一時停止中にランダム再生は設定できません。
- プログラム再生中は、ランダム再生はできません。
- 再生中にランダム状況を確認するには、画面表示を押してください。

4 章  
活用

## 便利な操作

DVD

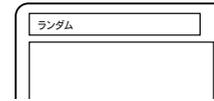
お知らせ .....

- 上記の手順は、基本的な操作手順です。  
DVDによっては手順が異なりますので、DVDの取扱説明書や画面に表示される手順に従って操作してください。
- DVDにトップメニューが記録されていないときは、トップメニューは表示されません。

## ■ 順不同で再生する (ランダム再生)

曲を順不同に再生することができます。

- 1 停止中に…  
モード を 2 回押す。



- 2 再生 を押す。

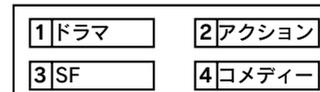
再生 を押すと、ランダム再生を解除することができます。

## ■ ディスクのトップメニューからタイトルを選ぶ

複数のタイトルが入っているDVDでは、トップメニューからタイトルを選ぶことができます。

- 1 停止中に…  
トップメニュー を押す。

トップメニュー画面の例

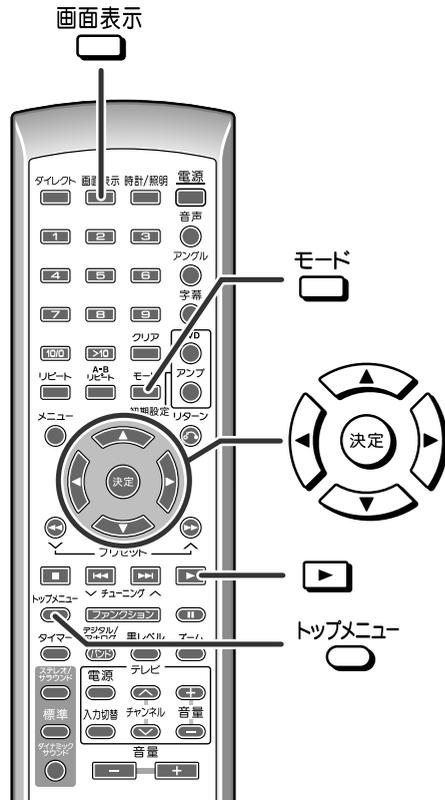


- 2 再生、一時停止、または 決定 を押して、タイトルを選び  
決定 を押す。

- 選んだタイトルが再生されます。
- ディスクによっては、リモコンにある数字入力ボタンを押してもタイトルを選ぶことができます。

- 再生中にメニュー画面を呼び出すときは

再生 を押してください。



# MP3 ディスクの操作

DVD 1-BIT DIGITAL THEATER SYSTEM SD-AT50DV

## ■ MP3 ディスクを再生する

MP3 形式で記録された CD-R/RW を再生することができます。

**MP3**

### ① MP3トラックが記録されたディスクを入れる。

MP3 メニュー画面が表示されます。



### ② [左]、[右]、[上] または [下] を押して、トラックを選び [再生] を押す。

[トップメニュー] を押すと、1 番上の階層に戻ります。

### ● ダイレクト再生をする

- ① 再生中に… [ダイレクト] を押す。
- ② [左]、[右]、[上] または [下] を押して、トラックを選び、[再生] を押す。

### ● プログラム再生をする

- ① 停止中に… [モード] を押す。
- ② [上] または [下] を押して、アルバムを選び、[決定] を押す。
- ③ [上] または [下] を押して、トラックを選び、[決定] を押す。  
[左] を押すとアルバム選択画面に戻ります。
- ④ 入力が終わったら、[再生] を押す。

### ご 注 意.....

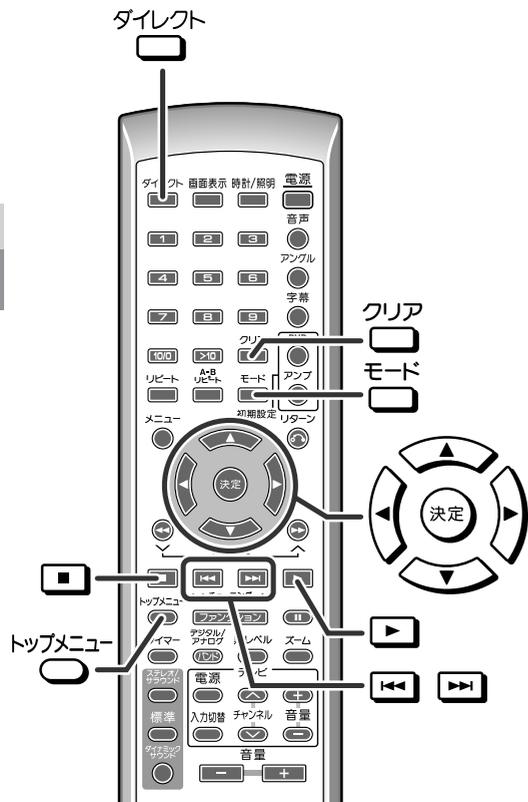
MP3形式を音楽用CDとして記録されたCD-R/RWは、MP3ディスクの操作はできません。そのときは、音楽CDの操作をしてください。

### お知らせ.....

- アルバム名の先頭には「+」が表示されます。
- アルバム名は14文字、トラック名は25文字まで表示できます。ただしアンダーライン、アスタリスク、スペースは表示しないことがあります。漢字、ひらがな、カタカナは表示できません。また、認識できない文字はアスタリスクで表示されます。
- アルバムとトラック合わせて255件まで認識できます。
- 9階層以降の階層は、再生できません。
- ダイレクト再生は、画面表示を消した状態の時、数字入力ボタンでも入力できます。
- プログラム入力されたトラックは、5トラックまで表示され、それ以上入力すると、次のトラック画面になります。  
[戻る] または [再生] を押すとトラック画面が変わります。
- プログラム入力をまちがえた時は、[クリア] を押してください。
- プログラム再生をやめるときは、[再生] を2回押してください。

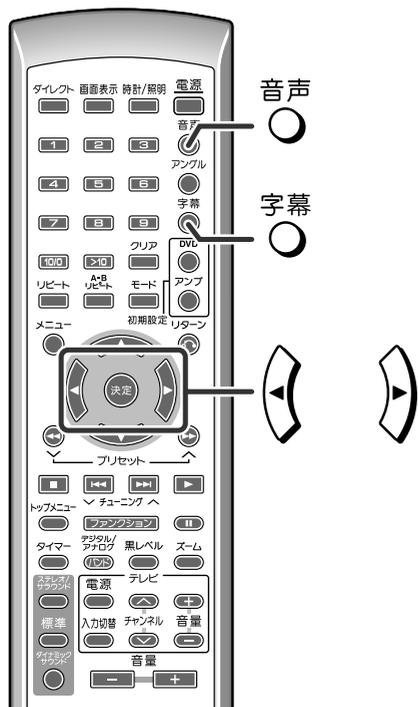
## 4 章 活用

### MP3 ディスクの操作



# いろいろな設定

字幕言語や音声言語を変更しても、電源を切ったり、ディスクを入れ換えると、初期設定で設定している字幕言語や音声言語になります。いつも希望する字幕言語や音声言語にしたいときは、初期設定画面で希望する言語を設定してください。(P.52)



## ■ 字幕言語を変更する

再生中に、字幕言語を変更したり、消したりすることができます。

- 1 再生中に… **字幕** を押す。
- 2 5秒以内に… **字幕** をくり返し押して、**字幕言語を選ぶ。**  
字幕 を押して、(←) または (→) を押すと、字幕言語のオフを選ぶことができます。

## ■ 音声言語 (音声出力) を変更する

再生中に、音声言語 (音声出力) を変更することができます。

- 1 再生中に… **音声** を押す。
- 2 5秒以内に… **音声** をくり返し押して、**音声言語 (音声出力) を選ぶ。**

### DVD の場合

DVD に含まれている音声言語のみ選択できます

「英語」→「日本語」→…→「フランス語」

### CD の場合

「ステレオ」→「L-CH」→「R-CH」

DVD

お知らせ .....

- DVDによっては、字幕言語の変更ができないものがあります。
- 字幕が記録されていないディスクのときは「なし」が表示されます。
- 選んだ字幕言語に切り換わるまで、少し時間がかかることがあります。
- DVDによっては、字幕を消すことが禁止されているものがあります。

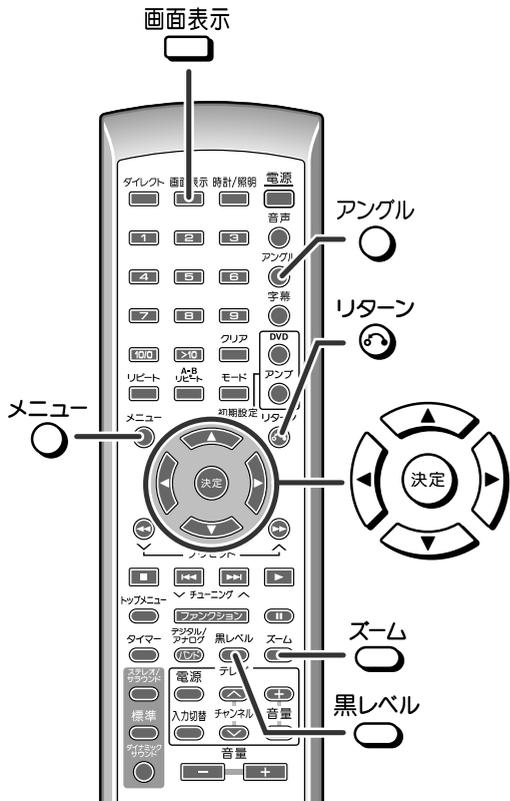
4 章  
活用

DVD CD

お知らせ .....

- DVDによっては、音声言語の変更ができないものがあります。
- 音声言語や音声方法の種類については、ディスクの取扱説明書をごらんください。

いろいろな設定



## ■ 画像を明るくする (黒レベル設定)

再生中に画像を調整することができます。

- 1 再生中に… **黒レベル** を押す。 黒レベル: オン
- 2 5秒以内に… **黒レベル** をくり返し押して、「オフ」「オン」を選ぶ。

DVD

黒レベル	設定内容
オフ	通常の画像
オン	明るい画像

## ■ アンクルを変更する

DVDにアンクルが記録されていると、1つの場面をいろいろな角度で見ることができます。

- 1 テレビ画面右上に「」が表示されたら… **アンクル** を押す。
- 2 5秒以内に… **アンクル** をくり返し押して、アンクル番号を選ぶ。

DVD

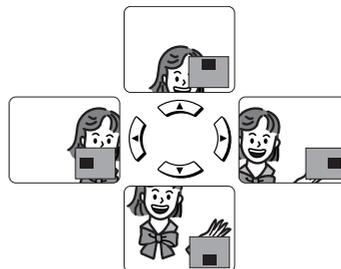
お知らせ .....

- DVDによっては、アンクルの変更が禁止されているものがあります。
- アンクルが記録されていないディスクでは、アンクル番号は表示されません。
- ディスクによっては操作が異なりますので、ディスクの取扱説明書をごらんください。

## ■ 画像を拡大表示する (ズーム)

DVDの再生中に、画像を拡大して表示させることができます。

- 1 再生中に… **ズーム** を押す。 ズーム [x2] **ズーム表示**  
 押すたびに、ズームの段階が切り換わります。  
 「ズーム [x2]」→「ズーム [x4]」→「ズーム [オフ]」
- 2 拡大した部分を移動するには、  
 ズーム中に… **カーソル** をくり返し押す。



DVD

お知らせ .....

- ズーム切換のとき、画面が乱れることがあります。
- 字幕はズームされません。
- 画面を移動した位置は、画面右下の表示を参考にしてください。

## ■ テレビ画面の表示を切り換える

テレビ画面の動作表示を常に表示させたり、消したりすることができます。

再生中に… を押す。(押すたびに切り換わります。)

### DVD の場合

#### チャプター/時間表示



#### タイトル/時間表示



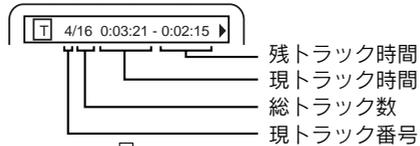
#### ビットレート表示



画面表示が消えます。

### 音楽 CD の場合

#### トラック/時間表示



#### 総トラック/時間表示



画面表示が消えます。

- ・MP3ディスクの場合は、次のように表示されます。  
現トラック名 (黄色表示) → 現トラック時間
- ・ を押しても画面表示は消えます。

DVD CD MP3

## 動作表示の種類

動作表示は、DVD の再生を例に説明しています。

動作	テレビ画面表示	DVD プレーヤーユニット表示
電源入時 (ディスクなし)		-----
ディスク データ読み中		Load
ディスクの種類		DVD
停止		TITLE
再生		▶ 1:12
静止 (一時停止)		12:30
スロー再生		▶ 23:40
早送り (サーチ)		▶ 23:40
早戻し (サーチ)		▶ 23:40

## 4 章 活用

### いろいろな設定

## ■ ディスクメニューから字幕や音声を設定する

メニューが記録されているDVDでは、ディスクのメニューから字幕や音言語、ドルビーデジタル(5.1ch)/DTS 音声などを変更することができます。

1 停止中や再生中に… を押す。 メニュー画面の例

Main Menu

1. ハイライト

2. 本編スタート

2 、、 (または ) を押して、設定を変更して を押す。

数字入力ボタンでも変更できるディスクもあります。

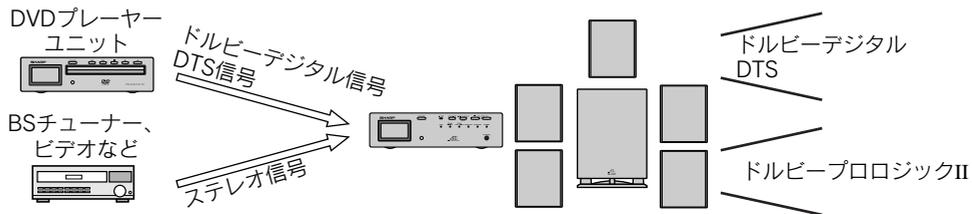
DVD

**お知らせ** .....  
左記の手順は、基本的な操作手順です。  
DVD によっては手順が異なりますので、DVD の取扱説明書や、画面に表示される手順に従って操作してください。

# ひろがりのある音を楽しむ (サウンドモード)

DVD 1-BIT DIGITAL THEATER SYSTEM SD-AT50DV

この製品は、ドルビーデジタル方式やDTS方式で記録されたDVDをひろがりのある音で楽しむことができます。また、2chのステレオ音声もドルビープロロジックIIでひろがりのある音で楽しむことができます。



## サラウンドの種類

## 入力信号の種類

## 特長

## 切り換え可能なサウンドモード

5章  
応用

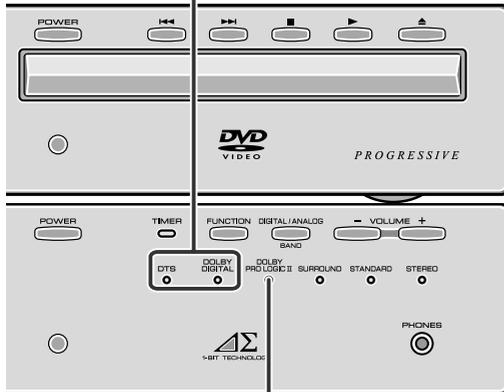
ひろがりのある音を楽しむ  
(サウンドモード)

<p>ドルビー デジタル Dolby Digital</p>	<p><b>DOLBY DIGITAL</b> のマークつきディスク</p>	<p>劇場向けデジタル音声システムの1つです。立体的な音響効果が得られ、本格的なホームシアターシステムが楽しめます。ドルビーデジタル方式で記録されているディスクを再生すると、自動的に判断します。</p>	<p>ステレオ</p> <p>標準 ダイナミックサウンド</p>
<p>DTS デジタル シアター システムズ (Digital Theater Systems)</p>	<p><b>DIGITAL dts SURROUND</b> のマークつきディスク</p>	<p>劇場向けデジタル音声システムの1つです。音質を重視しているため、リアルな音響効果が得られ、本格的なホームシアターシステムが楽しめます。DTS方式で記録されているディスクを再生すると自動的に判断します。</p>	<p>ステレオ</p> <p>標準 ダイナミックサウンド</p>
<p>ドルビー プロ ロジック Dolby Pro Logic II</p>	<p>BS放送やステレオ音声で録音されているディスクやビデオテープなど</p>	<p>BS放送やステレオ音声で録音されているディスクやビデオテープなどを再生すると、ドルビープロロジックII機能により自動的に判断し、5.1chのデジタルサラウンド音声に変換します。自然な音響効果が得られます。</p>	<p>ステレオ (※1)</p> <p>サラウンド (※2)</p> <p>標準 ダイナミックサウンド</p>

(切り換えかたは P.42)

## 本体表示

入力信号を自動的に判断し、点灯します。



- ・標準モードで2chの信号が入力されたときに点灯し、5.1chのサラウンド音声に拡張します。
- ・ドルビーデジタルで記録された2ch音声でも、5.1chに拡張します。

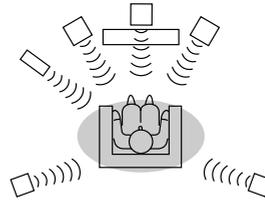
※1、※2のサウンドモードでは、  
ドルビー プロ ロジック  
「Dolby Pro Logic II」表示は消灯します。

## 聞こえかた

### 標準

最大5.1chのサラウンド音声が生され、立体的な音響効果が楽しめます。録音された音声信号に応じて、出来るだけ5.1chで再生するよう、自動的に働きます。

「STANDARD」ランプが点灯します。



### ダイナミックサウンド

シーンに合わせて楽しむことができる機能です。

**MOVIE** : 低音のレベルを増やし、より迫力のあるサウンドが楽しめます。

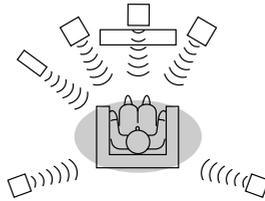
**MUSIC** : 歯切れを良くし、メリハリのあるサウンドが楽しめます。

**NIGHT** : 小さい音量でもソフトで迫力のあるサウンドが楽しめます。

### サラウンド

2chの音声を全てのスピーカーから出し、立体的な音響効果を楽しめます。

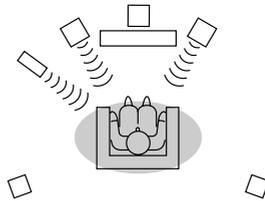
「SURROUND」ランプが点灯します。



### ステレオ

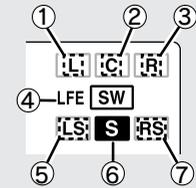
左右のフロントスピーカーとサブウーハーからの音響効果が楽しめます。

「STEREO」ランプが点灯します。



### お知らせ

- ・ディスクの種類（ドルビーデジタルやDTSなど）が複数記録されているディスクを再生するときは、音声を切り換えることができます。  
(参照 P.37)
- ・サウンドモードが標準やサラウンドのとき、モノラル信号ではセンタースピーカーのみ再生します。
- ・サウンドモードがステレオのとき、モノラル信号では2ch(L、R)同じ音声を再生します。
- ・入力される音声信号に応じて、サラウンド信号表示が点灯します。



- ① フロント「左」信号表示
- ② センター信号表示
- ③ フロント「右」信号表示
- ④ LFE「低域効果」信号表示
- ⑤ サラウンド「左」信号表示
- ⑥ サラウンド「モノラル」信号表示
- ⑦ サラウンド「右」信号表示

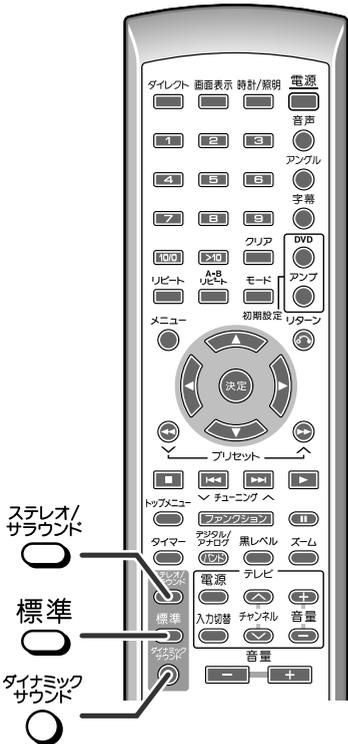
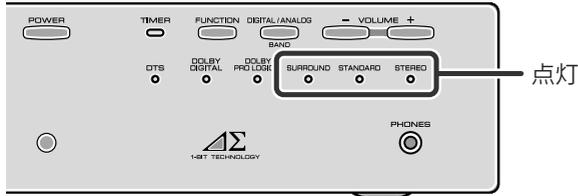
## 5章 応用

ひろがりのある音を楽しむ  
(サラウンドモード)

# ひろがりのある音を楽しむ(サウンドモード)(続き)

DVD CD

## ■ サウンドモードの切り換えかた



5 章  
応 用

ひろがりのある音を楽しむ  
(サウンドモード)

### 「標準」で楽しむ

再生中に…

標準 を押す。

スタンダード  
「STANDARD」ランプが点灯  
します。

例) ドルビーデジタル5.1chの場合

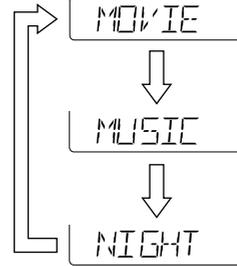


### ダイナミックサウンドで楽しむ

ダイナミックサウンド を押す。

押すたびに「MOVIE」→  
「MUSIC」→「NIGHT」の  
順に切り換わります。

「標準」のサラウンド音声に  
戻すには…  
標準 を押す。



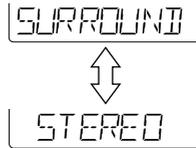
### 「サラウンド」や「ステレオ」で楽しむ

再生中に…

サラウンド/ステレオ を押す。

サラウンド  
「SURROUND」ランプまたは、  
ステレオ  
「STEREO」ランプが点灯します。

押すたびに「SURROUND」と「STEREO」が切り換わります。



### お知らせ

- ステレオやサラウンドを選んでいるときに、ダイナミックサウンドボタンを押すと、サウンドモードの種類は「標準」になります。
- 「DOLBY DIGITAL」や「DTS」の表示ランプが点灯しているときは、「サラウンド」を選ぶことができません。
- ディスクの中には、サンプリング周波数が96kHzで記録されたものがあります。このようなディスクを再生したときは、サウンドモードが自動的に「ステレオ」に切り換わります。また、再生中はサウンドモードの切り換えができません。

# リモコンの設定内容を変える

DVD 1-BIT DIGITAL THEATER SYSTEM SD-AT50DV

シャープ製のテレビは、設定内容を変えなくてもリモコンで操作することができます。(P.51)  
(機種によっては操作できないものもあります。)  
その他のテレビは、設定内容を変えるとリモコンで操作ができるようになります。

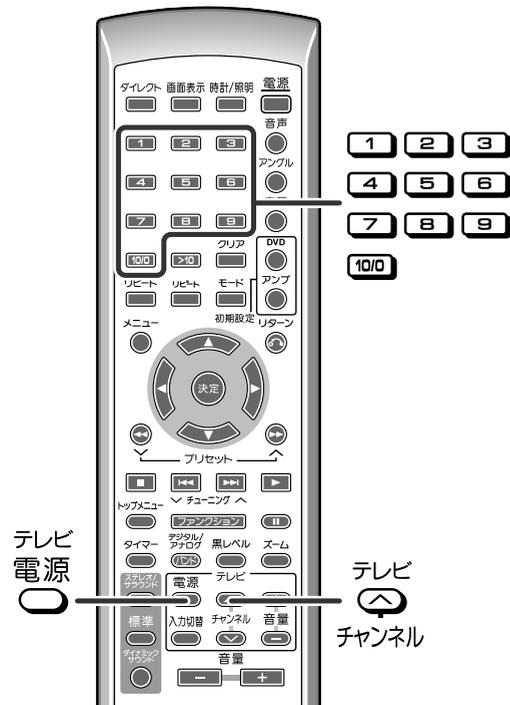
## ■ テレビのメーカー設定を変える

① テレビ を押したまま、 を押す。

② 数字入力ボタン (0～9) で、メーカー設定番号 (2ケタ) を入力する。

③ テレビ を押す。

設定したあと、テレビが正しく動作するか、確かめてください。



テレビのメーカー名	設定番号
シャープ	01(*),02
松下電器	03,04,05
日本ビクター	06,07,08
ソニー	09
三菱電機	10,11,12,13
日立製作所	14,15,16,17
東芝	18,19
パイオニア	20
三洋電機	21,22,23,24
富士通	25
アイワ	26
フナイ	27,28,29,30,31,32
SAMSUNG	33,34,35,36

\*お買いあげ時のメーカー番号は、01(シャープ)に設定されています。

### お知らせ .....

- メーカー番号が2つ以上あるときは、順に試してテレビが操作できる番号を選んでください。
- 操作の途中で30秒以上たつと登録されません。そのときは、もう一度登録してください。
- メーカー番号を登録すると、それまでのメーカー番号は消えます。
- リモコンの電池を交換したときは、メーカー番号が自動的に01(シャープ)に戻ることがあります。そのときは、もう一度登録してください。
- テレビによっては、設定できないものがあります。また、設定できても一部のボタンが使えないことがあります。

## 5 章 応用

### リモコンの設定内容を変える

# スピーカーの設定について

DVD 1-BIT DIGITAL THEATER SYSTEM SD-AT50DV

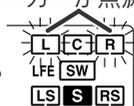
スピーカーの設定は、テレビ画面に表示されません。本体の表示で確認してください。

## ■ スピーカーサイズの設定

付属のスピーカー以外のスピーカーをお使いのときは、スピーカーサイズを変更することができます。

① 初期設定 <sup>アップ</sup> を押し、 または で「SP SIZE」を選び、<sup>決定</sup> を押し。

② 10秒以内に… <sup>選んだスピーカーが点滅</sup>  
 または を押し、スピーカーを選ぶ。



③ 10秒以内に…  
 または を押し、サイズを選ぶ。  
 他のスピーカーを設定するときは、操作2からくり返してください。

## ■ スピーカーディレイの設定

各スピーカーを等距離に設置できないときでも、等距離に設置したときと同じような効果が得られます。

① 初期設定 <sup>アップ</sup> を押し、 または で「SP DELAY」を選び、<sup>決定</sup> を押し。

② 30秒以内に… または を押し、スピーカーを選ぶ。

③ 30秒以内に… または で距離を選び、<sup>決定</sup> を押し。

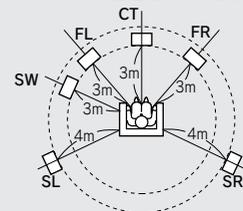
FL 30M

- ・距離の設定は0.1m単位で切り換えることができます。
- ・他のスピーカーの距離を設定するときは、操作2からくり返してください。

**ご注意**.....  
 スピーカーサイズの設定は、サウンドモードを「標準」にして行ってください。

**お知らせ**.....  
 付属のスピーカーでの推奨設定になっていますので、他のスピーカーを接続するときは、45ページ右上の表をごらんください。

視聴する位置から各スピーカーまでの距離を測り、スピーカーディレイの設定をしてください。

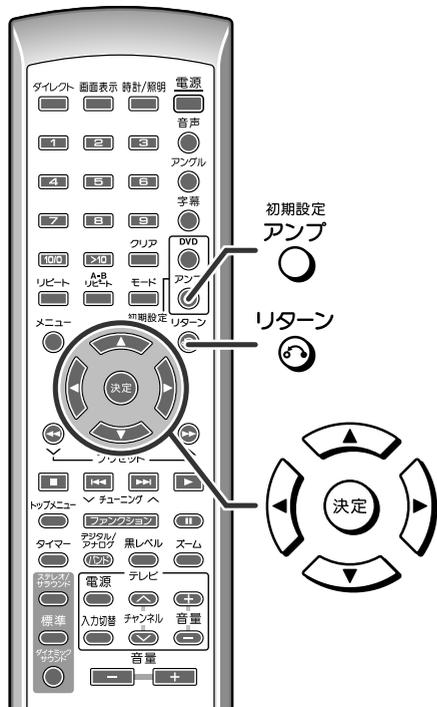


上記の配置では、フロントスピーカー「左」「右」・センタースピーカー・サブウーハーは3mに、サラウンドスピーカー「左」「右」は4mに設定します。

**お知らせ**.....  
 調整範囲については45ページ右下の表をごらんください。

5章 応用

スピーカーの設定について



## ■ スピーカーレベルの調整

各スピーカーからの聞こえかたが均一でない場合は、均一に調整することができます。

① 初期設定 <sup>アップ</sup> を押し、 または で「SP LEVEL」を選び、<sup>決定</sup> を押す。

② 10秒以内に… または を押して、スピーカーを選ぶ。

③ 10秒以内に… または を 押して、レベルを調整する。  
 ・レベルの調整は 1dB 単位で切り換えることができます。  
 ・他のスピーカーのレベルを調整するときは、操作2からくり返してください。

## ■ テストトーンでの確認

各スピーカーに一定音を出し、音の確認ができます。

① 初期設定 <sup>アップ</sup> を押し、 または で「TONE」を選び、<sup>決定</sup> を押す。

フロントスピーカー「左」から順に、  
2秒間のテストトーンを各スピーカーにくり返し出力します。

FL → CT → FR  
 ↑            ↓  
 SW ← SL ← SR

### ● レベル調整が合っていないときは

テストトーン出力中に…

または を押して、スピーカーレベルを調整します。

または を押すと、スピーカーを選ぶことができます。

### ● スピーカーの設定を終了するには

<sup>リターン</sup> を2回押す。

お知らせ .....

- ・サブウーハーの音が歪むときは、サブウーハーのレベルを調整してください。
- ・調整範囲については右下の表をごらんください。

お知らせ .....

スピーカーサイズの設定で、NO (切) を選んだスピーカーはテストトーンがでません。

スピーカーの種類	スピーカーサイズ	
フロントスピーカー 「左」 「右」	F-LARGE	大口径
	F-SMALL*	小口径
センター スピーカー	C-LARGE	大口径
	C-SMALL*	小口径
	C-NO	切
サラウンドスピーカー 「左」 「右」	S-LARGE	大口径
	S-SMALL*	小口径
	S-NO	切

\*印はお買い上げ時の設定です。

スピーカーの種類		ディレイ 調整範囲	レベル 調整範囲
FL	フロント スピーカー 「左」	0.1 ~ 9.0m	-6dB ~ +6dB
CT	センター スピーカー	0.1 ~ 9.0m	-6dB ~ +6dB
FR	フロント スピーカー 「右」	0.1 ~ 9.0m	-6dB ~ +6dB
SL	サラウンド スピーカー 「左」	0.1 ~ 9.0m	-6dB ~ +6dB
SR	サラウンド スピーカー 「右」	0.1 ~ 9.0m	-6dB ~ +6dB
SW	サブウーハー	0.1 ~ 9.0m	-10dB ~ +10dB

お買い上げ時の設定…2.0m …………… 0dB

## 5 章 応用

### スピーカーの設定について

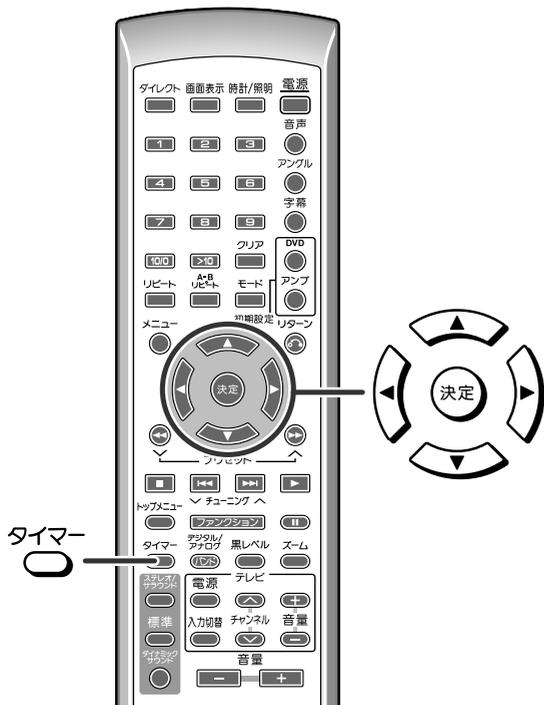
# タイマーを使う

## タイマーを使う前に

1. 時計を合わせてください。(P.24)  
時計を合わせていないと、タイマー再生は使用できません。
2. 再生の準備をしてください。

## 5 章 応用

### タイマーを使う



## ■ タイマーを設定する

設定した時刻に映像や音楽を楽しむことができます。

### 1 電源を入れて…

タイマー  
電源ボタンを押す。

「TIMER STANDBY」が表示されないときは、時計を合わせてください。

TIMER  
STANDBY

### 2 10秒以内に…

左向きまたは右向きで「TIMER SET」を選び、  
決定ボタンを押す。

TIMER  
SET

### 3 上向きまたは下向きで開始時刻の「時」を 合わせ、決定ボタンを押す。

7:00

### 4 上向きまたは下向きで 開始時刻の「分」を 合わせ、決定ボタンを押す。

ON 7:30 OFF 7:30

開始時刻が設定され、「時」が1時間増えて、終了時刻に切り換わります。

### 5 操作3～4と同じ手順で、終了時刻を設定する。

### 6 上向きまたは下向きで 入力を切り換えて、 決定ボタンを押す。

DVD DIGITAL ↔ DVD ANALOG ↔ AUX DIGITAL  
↓  
TUNER ↔ VTR ↔ TV ↔ AUX ANALOG

### 7 上向きまたは下向きで音量を調整して、決定ボタンを押す。

設定内容が順に表示されたあと、電源が切れます。

タイマー設定表示が点灯し、待機状態になります。AVコントロールユニットの「TIMER」ランプが点灯します。

### タイマー設定の内容を確認したいとき…

- ① タイマー再生待機状態のときに…

タイマー  
を押し。

CANCEL

- ② 10秒以内に…

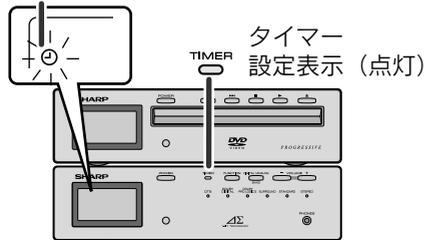
← または → で「タイマーコール」を選び、決定を押し。

設定内容が順に表示されたあと、タイマー再生の待機状態に戻ります。

### タイマー開始時刻になると…

タイマー再生が始まり、音量は徐々に大きくなります。

タイマー再生表示 (点滅)



### タイマー終了時刻になると…

電源が自動的に切れます。

設定内容は変更するまで覚えています。

### ● 同じ内容で再度タイマーを使うには

タイマーの内容は、一度設定すると覚えています。内容を変えないときは、次の操作で動作します。

- ① 電源を入れて… タイマー を押し。

「タイマースタンバイ」が表示されないときは、時計の設定が消えています。そのときは、時計を合わせてタイマー設定をやり直してください。

- ② 10秒以内に… 決定 を押し。

設定内容が順に表示されたあと、タイマー再生の待機状態になります。

### ● タイマー設定の内容を変更するには

電源を入れて…

「タイマーを設定する」の操作1からやり直してください。(P.46)

### ● タイマー再生を解除するには

タイマー再生待機状態のときに、電源を入れると解除されます。

電源を入れずに次の操作でも解除できます。

- ① タイマー を押し。

「タイマーキャンセル」が表示されます。

- ② 10秒以内に… 決定 を押し。

タイマー再生は解除されます。(設定した内容は消えません。)

### ご注意……………

- 電源コードを抜いたり、停電になるとタイマー設定の内容は消えます。そのときは、もう一度設定してください。
- 他の機器は、この製品のタイマーでは操作できません。BSチューナーやテレビ、ビデオなどの音声を用いて、タイマー再生する場合は、接続している機器もタイマー開始の設定をしておく必要があります。

### お知らせ……………

メニュー画面の表示されるディスクは、タイマー再生ができません。

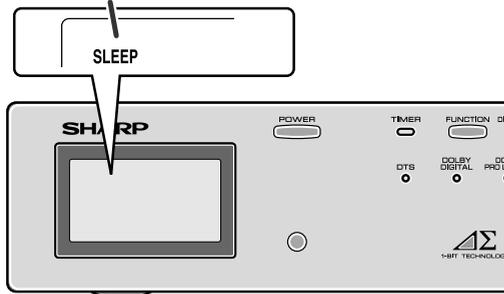
## 5 章 応用

### タイマーを使う

# スリープを使う

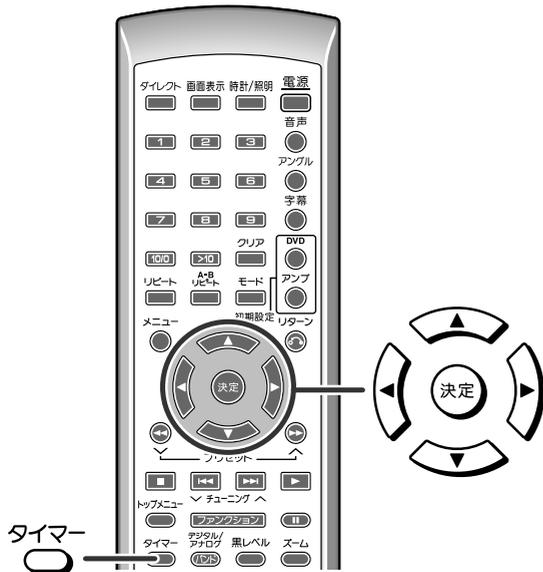
DVD 1-BIT DIGITAL THEATER SYSTEM SD-AT50DV

スリープ再生表示（点灯）



## 5章 応用

### スリープを使う



## ■ スリープを設定する

映像や音楽を楽しみながら、設定した時間で電源を切ることができます。

- 1 再生中に…  
タイマー を押す。
- 2 10秒以内に…  
 または で  
スリープ セット  
「SLEEP SET」を  
選び、 を押す。
- 3 または を  
押して、時間を選ぶ。  
  
・時間は2時間～1分まで選べます。  
・2時間～5分までは5分単位で、5分～1分までは1分単位で設定できます。
- 4 を押す。  
スリープ再生表示が点灯し、スリープ再生が始まります。

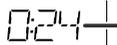
## スリープ再生終了時刻になると…

再生が終わり、電源が自動的に切れます。

終了時刻の1分前になると、音量が徐々に小さくなります。  
このとき、音量を変えることはできません。

ご注意……………  
他の機器は、この製品のスリープでは操作できません。BSチューナーやテレビ、ビデオなどの音声を用いて、スリープ再生する場合は、接続している機器もスリープの設定をしておく必要があります。

## ● スリープ中に残り時間を確認する

- ① 「SLEEP」の点灯中に…  
 タイマー  
 を押す。
- ② 10秒以内に…  
 または  で「SLEEP」を選ぶ。  
 スリープ再生残り時間

- ・約10秒後にもとの表示に戻ります。
- ・スリープ残り時間が表示されているときに  を押すと、時間を変更することができます。  
 (  P.48 : 操作3～4)

## ● スリープ再生を解除する

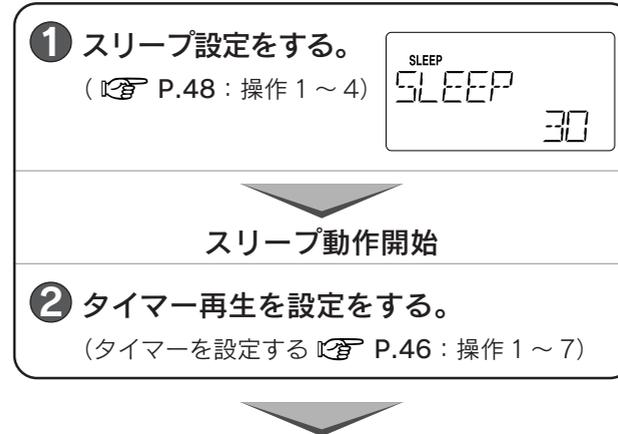
「SLEEP」の点灯中に電源を切ると、スリープ再生は解除されます。

電源を切らずに次の操作でも解除できます。

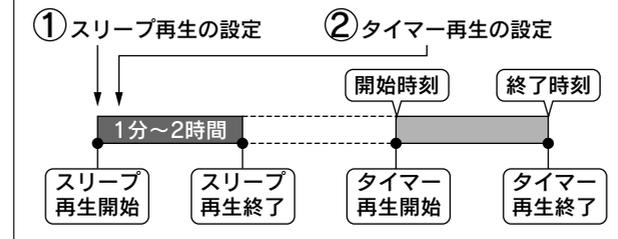
- ①  を押す。
- ② 10秒以内に…  
 または  で「SLEEP OFF」を選び、 を押す。

## ■ スリープとタイマーを組み合わせて使う

たとえば、CDを聞きながらおやすみになり、次の日の朝、CDの音楽で目覚ましをすることができます。



スリープ再生の終了時刻になると電源が自動的に切れ、タイマー再生の開始時刻になると電源が自動的に入り、タイマー再生が始まります。



お知らせ ……………  
 他の機器は、この製品のスリープやタイマーでは操作できません。  
 BSチューナーやテレビ、ビデオなどの音声を用いて、スリープやタイマーを組み合わせて使う場合は、接続している機器も設定しておく必要があります。

## 5 章 応用

### スリープを使う

# 他の機器の音声を接続する

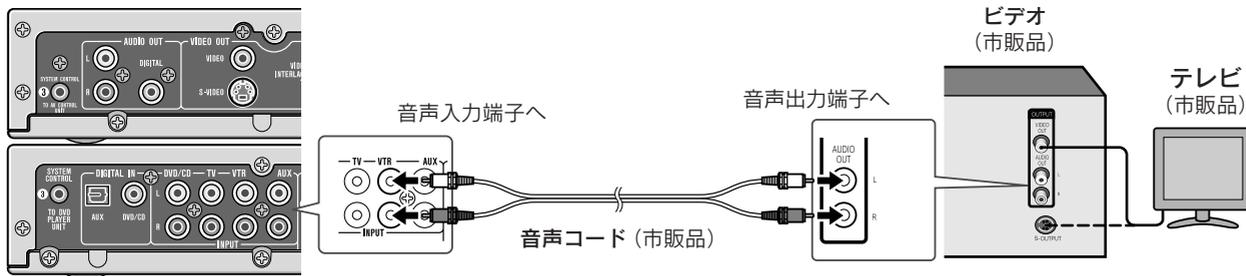
DVD 1-BIT DIGITAL THEATER SYSTEM SD-AT50DV

この製品は、他の機器の音声を接続して、聞くことができます。

ビデオやBSチューナーの映像はそれぞれの機器とテレビを直接つないでください。(テレビとの接続は、それぞれの機器の取扱説明書をごらんください。)

## ■ビデオの音声を接続する

音声コードで接続します。(音声コードは付属されていません。市販品をお買い求めください。)



**ご注意**.....  
接続するときは、それぞれの機器の電源を切った状態で行なってください。

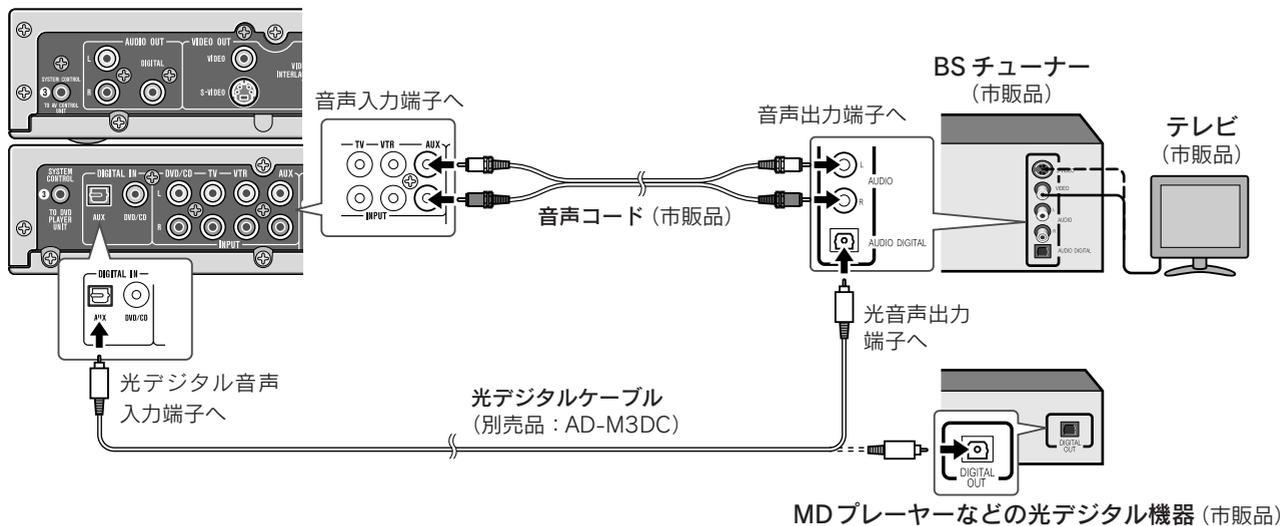
**お知らせ**.....  
各プラグは最後までしっかり差し込んでください。  
雑音の原因となります。

## 5章 応用

## ■BSチューナー(またはMDプレーヤーなどの光デジタル機器)の音声を接続する

音声コードまたは光デジタルケーブルのどちらか一つを接続すれば聞くことができます。

(光デジタルケーブルや音声コードは付属されていません。別売品・市販品をお買い求めください。)



**ご注意**.....  
接続するときは、それぞれの機器の電源を切った状態で行なってください。

**お知らせ**.....

- 接続した入力端子に合わせて、  
を押して、音声を  
オグジュアリー アナログ  
[AUX ANALOG] か  
オグジュアリー デジタル  
[AUX DIGITAL] に切り換えて  
ください。(P.51)
- 各プラグは最後までしっかり  
差し込んでください。  
雑音の原因となります。
- 光デジタルケーブルで接続し  
たときは、BSチューナーのデ  
ジタル出力をPCMに設定し  
てください。設定の方法につ  
いてはBSチューナーの取扱  
説明書をごらんください。

# テレビを操作する

接続したテレビは、本機のリモコンで操作することができます。お買いあげ時は、シャープ製のテレビを操作できるようになっています。その他のテレビを操作するには、リモコンの設定内容を変更してください。(P.43)

## ■ テレビを見るときは

- 1 テレビ を押して、テレビの電源を入れる。
- 2 テレビ または を押して、テレビのチャンネルを合わせる。
- 3 テレビ または を押して、テレビの音量を調整する。

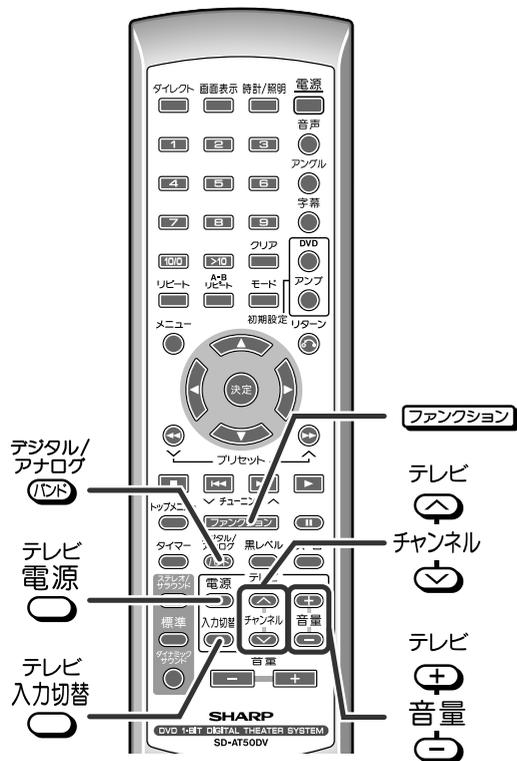
本機のスピーカーから音を聞きたいときは  
本機の電源を入れて…

**ファンクション** を押して、「TV」を選ぶ。  
(DVD プレーヤーユニットの電源は自動的に切れます。)

## ■ BS 放送やビデオを見るときは

- 1 本機の電源を入れて… **ファンクション** を押す。  
BS 放送を見るときは、**オグジュアリー** を選びます。  
ビデオを見るときは、「VTR」を選びます。  
(DVD プレーヤーユニットの電源は自動的に切れます。)
- 2 BS チューナーやビデオの電源を入れる。
- 3 テレビ を押して、テレビの入力切替を「ビデオ 1、ビデオ 2」などに設定する。  
・BS 放送を見るときは、接続した入力端子に合わせて を押し、**オグジュアリー アナログ** や **オグジュアリー デジタル** に切り換えます。  
・ビデオを見るときは、ビデオの再生ボタンを押します。

ご注意……………  
シャープ製のテレビでも、一部の機種は操作できないものがあります。



# DVDの初期設定を変える

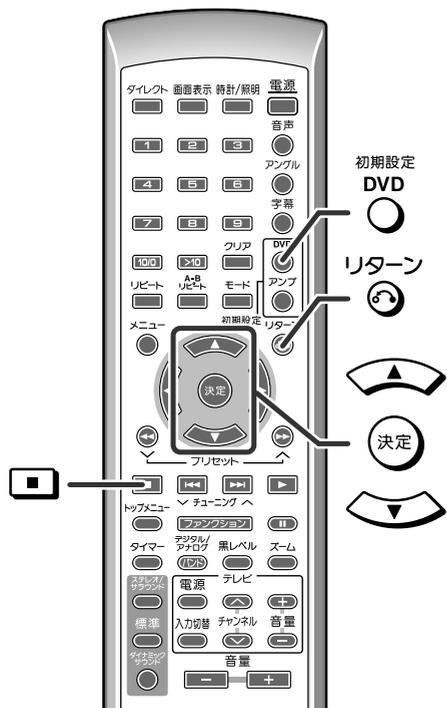
DVD 1-BIT DIGITAL THEATER SYSTEM SD-AT50DV

DVD

初期設定を変更すると、電源を切っても変更した内容を記憶しています。もとに戻したり、変更するときは、もう一度設定し直してください。

## 5章 応用

### DVDの初期設定を変える



①  を押したあと…  
初期設定  を押す。

②  または  を押して、項目を選び  
 を押す。



③  または  を押して、設定を変更し  
 を押す。

例) 画面表示言語設定  
を選んだとき



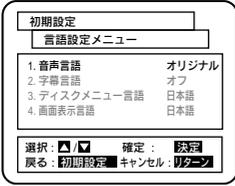
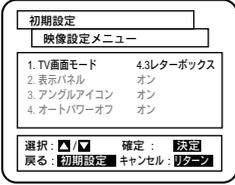
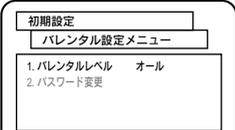
指示に従い、操作をくり返す。  
(くり返す回数は、設定項目により異なります。)

続けて他の設定を変更するときは、操作2からくり返してください。

④ 初期設定  を押す。  
設定した内容が登録されます。

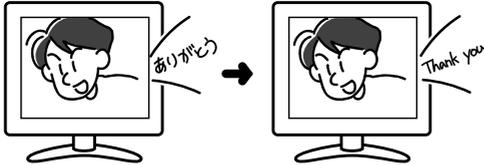
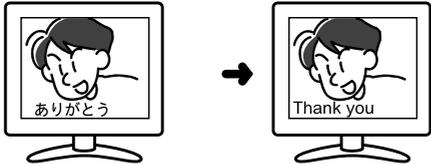
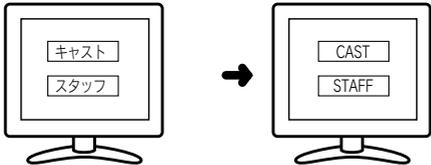
お知らせ .....

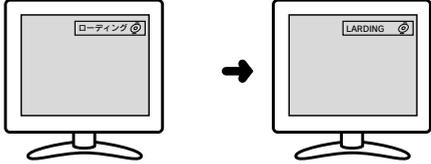
- ディスクの再生中は初期設定画面が表示されません。
- ディスク言語設定で「その他」の言語を設定するときは、54ページをごらんください。
- 項目や設定を選んでいるときに、 を押すと一つ前の画面に戻ります。

設定項目	選択できる項目 (□はお買い上げ時の設定)	設定内容	
言語		音声言語 オリジナル 日本語 …	スピーカーから聞こえる音声言語の種類を設定
		字幕言語 オフ 日本語 …	テレビに表示される字幕言語の種類を設定
		ディスクメニュー言語 オリジナル 日本語 …	ディスクメニューなど画面表示される言語の種類を設定
		画面表示言語 日本語 ENGLISH …	初期設定画面や再生設定画面などの表示言語を設定
映像		TV画面モード 4:3 レターボックス 4:3 パンスキャン 16:9 ワイド	接続するテレビのタイプに合わせて設定 (くわしくは、55 ページをごらんください)
		表示パネル オン オフ オート	表示部の照明設定 (オートに設定すると、再生中に照明が消灯します)
		アングルアイコン オン オフ	アングルアイコン (📐) の画面表示有無の設定
		オートパワーオフ オン オフ	静止または停止状態で35分以上入力がない場合、電源をオフにするか設定
音声 (デジタル出力) ※ お買い上げ時の設定を変更しないでください。		DRC オフ※ オン	音量範囲をコントロールするか設定
		ドルビーデジタル ビットストリーム※ DPCM	同軸デジタル音声出力端子から出る音声信号の種類を設定
		DTS オン※ オフ	
		ダウンサンプリング オート※ 48kHz 96kHz	96kHzのPCMで録音された音声信号を48kHzに変換するか設定
パレンタル (視聴制限)		パレンタルレベル オール 8~1	DVDソフトの視聴制限のレベルを設定
		パスワード変更 4桁のパスワードを入力	パスワードの設定・変更 「4737」をパスワードにすることはできません パスワードを忘れたときは、数字入力ボタン(0~9)を「4737」と押すと解除できます

# DVD の初期設定を変える (続き)

## ● 言語設定について

選択項目	設定内容
音声言語	再生したい音声の言語を設定します。 優先的に設定した言語でセリフやナレーションが聞こえます。 日本語に設定したとき      英語に設定したとき 
字幕言語	再生したい字幕の言語を設定します。 優先的に設定した言語で字幕が表示されます。 日本語に設定したとき      英語に設定したとき 
ディスクメニュー言語	再生したいディスクメニューの表示言語を設定します。 優先的に設定した言語でディスクメニュー画面が表示されます。 日本語に設定したとき      英語に設定したとき 

選択項目	設定内容
画面表示言語	初期設定やメッセージなどの表示言語を設定します。 日本語に設定したとき      英語に設定したとき 

## ● その他の言語の設定について

音声、字幕、ディスクメニュー言語には、「その他」の言語設定ができます。(言語コード一覧表  P.56)

例) 音声言語を 5464 (クロアチア語) に設定する場合

- ① 初期設定画面で「音声言語」を選んだあと  
( P.52 : 操作 1 ~ 3)、  
「その他」を選び  を押す。
- ② 数字入力ボタン (0 ~ 9) を使って「5464」を押す。  
テレビ画面に「5464 (HR)」と表示されます。
- ③ 初期設定  を押す。

お知らせ .....  
設定した言語がディスクに記録されていないときは、ディスクで決められた言語が再生 (表示) されます。

## ● 接続するテレビの画面サイズについて

選択項目	設定内容
4:3 レターボックス	<p>ワイド画像（16：9記録）のディスクを再生したとき、画像の上下に黒い帯を入れて、4:3のサイズで映像を出力します。ワイド画像（16：9記録）の全体を楽しむことができます。</p>  <p>4:3 画像のディスクは、そのまま 4:3 で再生されます。</p>
4:3 パンスキャン	<p>ワイド画像（16：9記録）のディスクを再生したとき、画像の左右をカット（パンスキャン）して、4:3のサイズで映像を出力します。違和感の少ない画像を楽しむことができます。ただし、パンスキャン [PS] 指定のないワイド画像（16：9記録）のディスクは、4:3 レターボックスで再生されます。</p>  <p>4:3 画像のディスクは、そのまま 4:3 で再生されます。</p>
16:9 ワイド	<p>ワイド画像（16：9記録）のディスクを再生したとき、ワイド画像（16：9記録）のサイズで出力します。</p>  <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 4:3 画像のディスクを再生したときは、接続したテレビの設定により表示が変わります。</li> <li>・ 4:3 のテレビと本機を接続した状態で 16:9 ワイドを選んでいるとき、ワイド画像（16:9記録）のディスクを再生すると、縦長の画面になります。</li> </ul>

**お知らせ** .....  
 画像の形が固定されているディスクでは、テレビの画面サイズを変更しても、画像の形は変わりません。

## ● 視聴制限（パレンタル）レベルについて

選択項目	設定内容
レベル 1	<p>子供向けディスクを再生することができます。成人向けディスクと一般向けディスク（R指定を含む）は再生できません。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ レベル 1 のディスクは誰でも楽しめる内容です。</li> </ul>
レベル 2 ～ 3	<p>子供向けディスクと一般向けディスク（R指定を除く）を再生することができます。成人指定ディスクと一般向け制限付き（R指定）ディスクは再生できません。</p>
レベル 4 ～ 7	<p>子供向けディスクと一般向けディスク（R指定を含む）を再生することができます。成人指定ディスクは再生できません。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ レベル 4 ～ 7 のディスクは中学生以下が見ることができない内容です。</li> </ul>
レベル 8	<p>すべてのディスクを制限なしに再生することができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ レベル 8 のディスクは成人しか見ることができない内容です。</li> </ul>
「オール」	<p>視聴制限を解除します。</p>

**お知らせ** .....  
 ・ 始めてパスワードを入力するときは、任意の4桁の数字を入力してください。パスワードが自動的に登録されます。  
 ・ 視聴制限が記録されているディスクを再生中に、見ることができない場面では、視聴制限の一時変更画面が表示されることがあります。そのときは、パスワードを入力して一時的に視聴制限レベルを変更することができます。

5 章  
応 用

## DVDの初期設定を変える

# 言語コード一覧表

DVD 1-BIT DIGITAL THEATER SYSTEM SD-AT50DV

言語コード	言語名
4747	アフアル語 (AA)
4748	アブバジア語 (AB)
4752	アフリカーンス語 (AF)
4759	アムハラ語 (AM)
4764	アラビア語 (AR)
4765	アッサム語 (AS)
4771	アイマラ語 (AY)
4772	アゼルバイジャン語 (AZ)
4847	バジキール語 (BA)
4851	ベラルーシ語 (BE)
4853	ブルガリア語 (BG)
4854	ビハーリー語 (BH)
4855	ビスラマ語 (BI)
4860	ベンガル語、バングラ語 (BN)
4861	チベット語 (BO)
4864	ブルトン語 (BR)
4947	カタロニア語 (CA)
4961	コルシカ語 (CO)
4965	チェコ語 (CS)
4971	ウエールズ語 (CY)
5047	デンマーク語 (DA)
5051	ドイツ語 (DE)
5072	ブータン語 (DZ)
5158	ギリシャ語 (EL)
5160	英語 (EN)
5161	エスペラント語 (EO)
5165	スペイン語 (ES)
5166	エストニア語 (ET)
5167	バスク語 (EU)
5247	ペルシャ語 (FA)
5255	フィンランド語 (FI)
5256	フィジー語 (FJ)
5261	フェロー語 (FO)
5264	フランス語 (FR)

言語コード	言語名
5271	フリジア語 (FY)
5347	アイルランド語 (GA)
5350	スコットランドゲール語 (GD)
5358	ガルシア語 (GL)
5360	グアラニ語 (GN)
5367	グジャラート語 (GU)
5447	ハウサ語 (HA)
5455	ヒンディ語 (HI)
5464	クロアチア語 (HR)
5467	ハンガリー語 (HU)
5471	アルメニア語 (HY)
5547	国際語 (IA)
5551	国際語 (IE)
5557	イヌピック語 (IK)
5560	インドネシア語 (IN)
5565	アイスランド語 (IS)
5566	イタリア語 (IT)
5569	ヘブライ語 (IW)
5647	日本語 (JA)
5655	イディッシュ語 (JI)
5669	ジャワ語 (JW)
5747	グルジア語 (KA)
5757	カザフ語 (KK)
5758	グリーンランド語 (KL)
5759	カンボジア語 (KM)
5760	カナダ語 (KN)
5761	韓国語 (KO)
5765	カシミール語 (KS)
5767	クルド語 (KU)
5771	キルギス語 (KY)
5847	ラテン語 (LA)
5860	リンガラ語 (LN)
5861	ラオス語 (LO)
5866	リトアニア語 (LT)

言語コード	言語名
5868	ラドビア語、レット語 (LV)
5953	マダカスカル語 (MG)
5955	マオリ語 (MI)
5957	マケドニア語 (MK)
5958	マラヤーラム語 (ML)
5960	モンゴル語 (MN)
5961	モルダビア語 (MO)
5964	マラータ語 (MR)
5965	マレー語 (MS)
5966	マルタ語 (MT)
5971	ミャンマー語 (MY)
6047	ナウル語 (NA)
6051	ネパール語 (NE)
6058	オランダ語 (NL)
6061	ノルウエー語 (NO)
6149	プロバンス語 (OC)
6159	アフアン語 (オロモ語) (OM)
6164	オリヤー語 (OR)
6247	パンジャブ語 (PA)
6258	ポーランド語 (PL)
6265	バシュトー語 (PS)
6266	ポルトガル語 (PT)
6367	ケチュア語 (QU)
6459	ラエティ=ロマン語 (RM)
6460	キルンディ語 (RN)
6461	ルーマニア語 (RO)
6467	ロシア語 (RU)
6469	キニャルワンダ語 (RW)
6547	サンスクリット語 (SA)
6550	シンド語 (SD)
6553	サンゴ語 (SG)
6554	セルビアクロアチア語 (SH)
6555	シンハラ語 (SI)
6557	スロバキア語 (SK)

言語コード	言語名
6558	スロベニア語 (SL)
6559	サモア語 (SM)
6560	シヨナ語 (SN)
6561	ソマリ語 (SO)
6563	アルバニア語 (SQ)
6564	セルビア語 (SR)
6565	シスワティ語 (SS)
6566	セストウ語 (ST)
6567	スンダ語 (SU)
6568	スウェーデン語 (SV)
6569	スワヒリ語 (SW)
6647	タミール語 (TA)
6651	テルグ語 (TE)
6653	タジク語 (TG)
6654	タイ語 (TH)
6655	ティグリニャ語 (TI)
6657	トゥルクメン語 (TK)
6658	タガログ語 (TL)
6660	セツワナ語 (TN)
6661	トンガ語 (TO)
6664	トルコ語 (TR)
6665	ツォンガ語 (TS)
6666	タタール語 (TT)
6669	トウィ語 (TW)
6757	ウクライナ語 (UK)
6764	ウルドゥ語 (UR)
6772	ウズベク語 (UZ)
6855	ベトナム語 (VI)
6861	ボラピュク語 (VO)
6961	ウォロフ語 (WO)
7054	コーサ語 (XH)
7161	ヨルバ語 (YO)
7254	中国語 (ZH)
7267	ズール語 (ZU)

# エラーメッセージについて

DVD 1-BIT DIGITAL THEATER SYSTEM SD-AT50DV

再生できないディスクを入れたときや操作を誤ったときなどに、各ユニットの表示部やテレビ画面に次のような表示がでます。

AVコントロール ユニット表示	エラーの内容
DSP NG	・サラウンド回路の動作不良。 近くにノイズを発生するものがあれば本体から離したり、電源プラグの差し込み位置を変えてみる。(※)
ER-AP02	・スピーカーの接続不良。 ・アンプの異常と判断した。 電源を入れ直してみる。(※)
ER-AP03	・アンプの異常と判断した。 電源を入れ直してみる。(※)
ER-AP14	・アンプの異常と判断した。 近くにノイズを発生するものがあれば本体から離したり、電源プラグの差し込み位置を変えてみる。(※)
FAN LOCK	・サブウーハー/アンプユニット背面の空冷ファンに異物がはさまり回らない。 電源を切って、空冷ファン周辺の異物を取り除く。
NOSIGNAL	・デジタル音声入力端子の接続不良。 ・規格外の信号で認識することができない。
S-CABLE	・システム接続用コードがはずれている。
TEMP	・温度が高くなりすぎた。 電源を切ってしばらく置いておく。

(※) 電源プラグを差し込み直したり、電源を入れ直しても、同じ表示がでるときは、62ページの「保証とアフターサービス」をごらんのうえ、修理を依頼してください。

DVDプレーヤー ユニット表示	エラーの内容
-----	・ディスクが入っていない。 ・ディスクにキズや汚れがあり、認識できない。 ・ディスクの裏表を逆に入れた。

テレビ画面表示	エラーの内容
ディスクエラー： 再生可能なディスクを挿入してください。 ディスクを取り出してください。	本機で再生できないディスクを入れたり、裏表を逆に入れたとき。
リージョンエラー： この地域での再生は禁止されています。 ディスクを取り出してください。	リージョン番号が「2」「ALL」以外のDVDを入れたとき。
	本書に記載されている操作を、ディスク側で禁止しているとき。

# “故障かな？”と思ったら

次のようなときは故障ではないことがありますので、修理を依頼される前に、もう一度お調べください。それでも具合の悪いときは、62ページの「保証とアフターサービス」をごらんのうえ修理を依頼してください。

## ■ 共通

(参照ページ)

スピーカーから音が出ない	<ul style="list-style-type: none"> <li>→ 音量が「0」になっていませんか。 P.29</li> <li>→ ヘッドホンをつないでいませんか。 P.29</li> <li>→ スピーカーは正しく接続されていますか。 P.17</li> <li>→ スピーカーサイズの設定でNO(切)を選んでいませんか。 P.44</li> </ul>
スピーカーの音にばらつきがある	<ul style="list-style-type: none"> <li>→ スピーカーコードの⊕、⊖をまちがえていませんか。 P.17</li> <li>→ 各スピーカーをお聞きの位置から等距離に設置していますか。 P.20</li> <li>→ スピーカーレベルが合っていますか。 P.45</li> </ul>
再生中に雑音が出る	<ul style="list-style-type: none"> <li>→ パソコン・携帯電話などの機器が本機の近くにある場合は、離してください。 ———</li> </ul>
ボタンを押しているうちに正常な動作をしなくなった	<ul style="list-style-type: none"> <li>→ 一度、電源を切り、操作をやり直してください。それでも動作しないときは、リセット操作をしてください。 P.60</li> </ul>
テレビの映像に乱れが生じる	<ul style="list-style-type: none"> <li>→ 室内アンテナを使用しているテレビを近くに置いていたり、テレビに映像の乱れや雑音が生じることがあります。このようなときは、屋外アンテナの使用をおすすめします。 ———</li> </ul>
テレビの設定画面が英語で表示される	<ul style="list-style-type: none"> <li>→ 画面表示言語設定が「<small>イングリッシュ</small>ENGLISH」に設定されています。 P.52</li> </ul>
タイマー再生が動作しない	<ul style="list-style-type: none"> <li>→ 電源コードを抜いたり、停電がありませんでしたか。 P.24</li> <li>→ 時計を合わせ直してください。</li> </ul>

(参照ページ)

表示部が暗い	<ul style="list-style-type: none"> <li>→ リモコンの時計/照明ボタンを2秒以上押して「ON」を選んでください。 P.23</li> </ul>
電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"> <li>→ 電源プラグがコンセントからはずれていませんか。 P.22</li> <li>→ システム接続用コード(プレーヤー用)が外れていませんか。 P.16</li> <li>→ 保護回路が働いていることがあります。電源プラグをコンセントから抜き、5分以上たってから再び差し込んでください。 P.60</li> </ul>
ドルビーデジタル(5.1ch)の音声にならない	<ul style="list-style-type: none"> <li>→ 初期設定の「ドルビーデジタル」が「DPCM」になっていませんか。「ビットストリーム」に設定してください。 P.52</li> </ul>
映像が出ない	<ul style="list-style-type: none"> <li>→ テレビの電源は入っていますか。 P.51</li> <li>→ テレビの入力を切り替えていますか。 P.51</li> <li>→ ビデオモード切換スイッチをテレビに合わせて切り換えていますか。 P.19</li> </ul>

## ■ チューナーの操作

(参照ページ)

放送に“シー”、“ザー”という連続音が入る	<ul style="list-style-type: none"> <li>→ テレビやコンピュータ、ワープロなどの近くでラジオ放送を受信すると雑音が入ります。このようなときは、雑音の発生しやすいところから離してみてください。 ———</li> <li>→ アンテナの方向が悪くありませんか。 P.27</li> </ul>
放送がよく受信できない 雑音も多い	<ul style="list-style-type: none"> <li>→ アンテナ線の近くに電源コードがある場合は離してください。 ———</li> <li>→ 受信状態が改善されない場合は、屋外アンテナを設置する方法もあります。 P.22</li> </ul>
登録した放送局を呼び出すことができない	<ul style="list-style-type: none"> <li>→ 電源コードを抜いたり、停電がありませんでしたか。登録し直してください。 P.27</li> <li>→ リセット操作をしませんでしたか。登録し直してください。 P.27</li> </ul>

## ■ リモコンの操作

(参照ページ)

リモコンで操作できない	→ 乾電池の ⊕、⊖ の向きが逆になっていませんか。	P.23
または、正しい動作をしない	→ 乾電池が消耗していませんか。 → リモコンの送信部を本機のリモコン受信部に正しく向けていますか。 → リモコン受信部との距離が遠すぎませんか。または、近すぎませんか。 → 本機の前に障害物はありませんか。 → リモコン受信部に強い光(インバーター蛍光灯や直射日光など)があたっていませんか。 → 他の機器のリモコンを同時に操作していませんか。	P.23 P.23 P.23 P.23 P.23
リモコンで電源が入らない	→ 電源コードはつながっていますか。 → 乾電池は入っていますか。	P.22 P.23

## ■ ディスクの操作

(参照ページ)

ディスクを入れても「-----」が表示される	→ ディスクの裏表をまちがえていませんか。 → 汚れやキズがありませんか。 → 規格外のディスクを使用していませんか。	— — —
再生音がとぎれる	→ 振動の多い不安定な場所で使用していませんか。 → つゆつき現象が起きていませんか。	P.59

(参照ページ)

操作ボタンを押しても動作をしない	→ ディスクに汚れやキズがありませんか。 → 規格外のディスクを使用していませんか。 → 振動の多い不安定な場所で使用していませんか。 → つゆつき現象が起きていませんか。	— — — P.59
また、映像や曲の途中で止まってしまい、正しい再生をしなくなる		
映像や再生音がとぎれる	→ ディスクに汚れやキズがありませんか。 → 振動の多い不安定な場所で使用していませんか。 → つゆつき現象が起きていませんか。	— — P.59
電源が入っているのに動かない	→ DVD (リージョン番号 2、ALL)、音楽 CD 以外のものが入っていませんか。	P.14 ~ 15
再生画像が出ない(音声が出ない)	→ 映像・音声コードが正しく接続されていますか。 → DVD (リージョン番号 2、ALL)、音楽 CD 以外のものが入っていませんか。 → ディスクが汚れていませんか。ディスクにキズがありませんか。 → ディスクの表裏をまちがえていませんか。 → テレビの入力切替が「ビデオ1・ビデオ2」などになっていますか。 → 電源は入っていますか。	P.16 ~ 19 P.14 ~ 15 P.15 P.15 P.51 P.23

## ■ つゆつき現象について

次のようなときには、内部の光ピックアップやディスクにつゆ(水滴)がつくことがあります。

- ・ 暖房をつけた直後。
- ・ 湯気や湿気が立ちこめている部屋に置いてあるとき。
- ・ 冷えた場所(部屋)から急に暖かい部屋に移動したとき。

つゆがつくと……ディスクの信号が読み取れず、この製品が正常な動作をしないことがあります。

つゆを取るには…ディスクを取り出して電源を入れておけば、約1時間位でつゆが取り除かれ、正常な動作をするようになります。

## “故障かな？”と思ったら（続き）

### ■ 異常が起きたら

この製品を使用中に、強い外来ノイズ（衝撃、過大な静電気、または落雷による電源電圧の異常など）を受けたときや誤った操作をしたときなどに、正しく表示しなくなったり、操作を受けつけなくなるなどの異常が発生することがあります。

このようなときは、次のようにリセット操作をしてください。

#### ● AV コントロールユニットのリセット操作

- ① サブウーハー/アンプユニットの電源コードをコンセントから抜きます。
- ②  を押したまま、電源コードを差し込みます。  
このとき電源は入りません。
- ③ もう一度、 を押し、電源を入れてください。  
リセット操作をすると、登録した内容は消え、各種の設定はお買いあげ時の状態に戻ります。

#### ● DVD プレーヤーユニットのリセット操作

DVD プレーヤーユニットの電源コードを一度抜いて、5分以上たってから再度差し込み、操作をしてください。

#### ● アンプの保護回路が働いたとき

スピーカーコードをショートさせたり、特殊なディスクを再生したとき音量を上げすぎると、保護回路が働き、電源が切れることがあります。サブウーハー/アンプユニットの電源コードを一度抜いて、5分以上たってから再び差し込んでください。音量を上げすぎていたときは、少し下げてください。

# 移動やお手入れについて

DVD 1-BIT DIGITAL THEATER SYSTEM SD-AT50DV

### ■ 製品の移動について

製品を移動する場合には次のことを行ってください。

- ① DVD プレーヤーユニットの電源を入れる。
- ② ディスクトレイを開けディスクを取り出す。
- ③ ディスクトレイを閉め、電源を切る。
- ④ 表示部が消えたら、電源コードを抜く。

### ■ 本体のお手入れ

やわらかい布で軽くふき取ってください。

汚れがひどいときは、水にひたした布をよくしぼってふき取り、乾いた布で仕上げてください。

#### ご注意

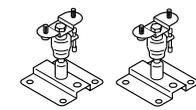
ベンジン、シンナーなどは使わないでください。  
変質したり、塗料がはげることがあります。

## 別売品について

この製品を正しく動作させるために、別売品は指定のものをお使いください。スピーカーの取り付け方についてはスタンドやブラケットの取扱説明書をごらんください。

<b>フロア型スピーカースタンド</b>
形名：AD-AT10ST


<b>テーブル型スピーカースタンド</b>
形名：AD-AT10LS


<b>壁掛け用スピーカーブラケット</b>
形名：AD-AT10SA


<b>光デジタルケーブル</b>
形名：AD-M3DC

コードの長さ：約 1m

別売品の形状はイラストと異なることがあります。

# 仕様について

DVD 1-BIT DIGITAL THEATER SYSTEM SD-AT50DV

仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。ご了承ください。

## ● AV コントロールユニット

最大外形寸法	215mm (幅) × 58mm (高さ) × 261mm (奥行) (JEITA)
質量	約 1.3kg
音声入力端子	デジタル入力： 光 × 1 (AUX) 同軸 × 1 (DVD/CD) アナログ入力： ピンジャック (L/R) × 4 (DVD/CD、TV、VTR、AUX)
音声出力端子	ヘッドホン： 16 Ω ~ 50 Ω (推奨 32 Ω) 直径 3.5mm ステレオミニ ジャック × 1
その他の端子	システムコントロール × 3 アンテナ × 3 (FM75 Ω、AM、アース)
時計形式	デジタルクロック
タイマー	1日1回 ON/OFF 可能
チューナー 回路方式	クォーツデジタルシンセサイザー 方式 スーパーヘテロダイン FM/AM チューナー
受信周波数	FM： 76.0 ~ 108.0 MHz (TV 音声 1 ~ 3CH) AM： 522 ~ 1,629 kHz

## ● DVD プレーヤーユニット

電源	100V AC、50/60Hz
消費電力	14W
最大外形寸法	215mm (幅) × 58mm (高さ) × 257mm (奥行) (JEITA)
質量	約 2.0kg
水平解像度	DVD : 500 本
ビデオ信号 S/N 比	DVD : 60dB 以上
信号方式	NTSC カラー方式準拠
読み取り方式	非接触光学式読み取り方式 (半導体レーザー使用)
周波数特性	DVD・CD 再生時 : 20 ~ 20,000Hz (+1/-3dB) (JEITA)
ワウ・フラッター	測定限界 (± 0.001%W. PEAK) 以下 (JEITA)
音声出力端子	デジタル出力： 同軸 × 1 アナログ出力： ピンジャック (L/R) × 1
映像出力端子	映像出力 × 1 S 映像出力 × 1 D1/D2 映像出力 × 1
その他の端子	システムコントロール × 1

## ● リモコン

電源	DC3V (付属単 3 乾電池 × 2 個)
----	------------------------

## ● サブウーハー / アンプユニット

電源	100V AC、50/60Hz
消費電力	130W
最大外形寸法	260mm (幅) × 373mm (高さ) × 421mm (奥行) (JEITA)
質量	約 9.9kg
実用最大出力	総合 300W フロント： 50W + 50W (JEITA) センター： 50W (JEITA) サラウンド： 50W + 50W (JEITA) サブウーハー： 50W (JEITA)
A/D ノイズ シェーピング	7次 ΔΣ (デルタシグマ) 変調
サブウーハー	16cm [防磁設計(JEITA)]
音声出力端子	スピーカー出力： 4 Ω (ソケットタイプ、 5チャンネル)
その他の端子	システムコントロール × 2 AC 電源 × 1

## ● サテライトスピーカー

形式	8cm [防磁設計(JEITA)]
最大入力	100W
インピーダンス	4 Ω
最大外形寸法	95mm (幅) × 114mm (高さ) × 104mm (奥行) (JEITA)
質量	約 0.7kg × 5

## 6 章 参考

### 仕様について

# 保証とアフターサービス (よくお読みください)

DVD 1-BIT DIGITAL THEATER SYSTEM SD-AT50DV

## 保証書 (別添)

- 保証書は「お買いあげ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取ってください。  
保証書は内容をよくお読みの後、大切に保存してください。
- 保証期間  
お買いあげの日から1年間です。  
保証期間中でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。

## 補修用性能部品の保有期間

- 当社は、このDVD1ビットデジタルシアターシステムの補修用性能部品を製造打切後、8年保有しています。
- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

## ご不明な点や修理に関するご相談は

- 修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買いあげの販売店、またはもよりのシャープお客様ご相談窓口 (63ページ) にお問い合わせください。

### 愛情点検



このような  
症状は  
ありませんか?

### 長年ご使用の機器の点検を!

- 電源コードやプラグが異常に熱い
- コゲくさい臭いがする
- 電源コードに深いキズや変形がある
- その他の異常や故障がある

### ご使用中止

故障や事故防止のため、電源スイッチを切り、電源コードをコンセントから抜いて、必ず販売店に点検をご依頼ください。なお、点検・修理に要する費用は、販売店にご相談ください。

## 修理を依頼されるときは

## 出張修理

- 「“故障かな?” と思ったら」 (58~60ページ) を調べてください。  
それでも異常があるときは、使用をやめて、必ず電源プラグを抜いてから、お買いあげの販売店にご連絡ください。

### ■ご連絡していただきたい内容

品名	: DVD1ビットデジタルシアターシステム
形名	: SD-AT50DV
お買いあげ日	(年月日)
故障の状況	(できるだけ具体的に)
ご住所	(付近の目印も合わせてお知らせください。)
お名前	前
電話番号	
ご訪問希望日	

- 便利メモ お客様へ…  
お買いあげ日・販売店名を記入されると便利です。

お買いあげ日	販売店名
年月日	電話 ( ) -

### ■保証期間中

修理に際しましては保証書をご提示ください。  
保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

### ■保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できるときには、ご希望により有料で修理させていただきます。

### ■修理料金のしくみ

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の料金です。

# お客様ご相談窓口のご案内

DVD 1-BIT DIGITAL THEATER SYSTEM SD-AT50DV

修理・お取扱い・お手入れについてのご相談ならびにご依頼は、お買いあげの販売店へご連絡ください。  
転居や贈答品などで、保証書記載の販売店にご相談できない場合は、下記窓口にご相談ください。

- 製品の故障や部品のご購入に関するご相談は・・・ **修理相談センター** へ
- 製品のお取扱い方法、その他ご不明な点は・・・ **お客様相談センター** へ

## お客様相談センター

- 受付時間：\*月曜～土曜：午前9時～午後6時  
\*日曜・祝日：午前10時～午後5時（年末年始を除く）

東日本相談室	TEL <b>043-297-4649</b>	FAX <b>043-299-8280</b>
	〒261-8520 千葉県千葉市美浜区中瀬1-9-2	
西日本相談室	TEL <b>06-6621-4649</b>	FAX <b>06-6792-5993</b>
	〒581-8585 大阪府八尾市北亀井町3-1-72	

- 所在地・電話番号などについては変更になることがありますので、その節はご容赦願います。

## 修理相談センター

### ● 修理相談センター（沖縄・奄美地区を除く）

- 受付時間：\*月曜～土曜：午前9時～午後6時 \*日曜・祝日：午前10時～午後5時（年末年始を除く）



**0570-02-4649**

当ダイヤルは、全国どこからでも一律料金でご利用いただけます。  
呼出音の前に、NTTより通話料金の目安をお知らせ致します。  
（注）携帯電話・PHSからは、下記電話におかけください。

		<東日本地区>	<西日本地区>
○ 携帯電話／PHSでのご利用は・・・	(一般電話)	043-299-3863	06-6792-5511
○ FAXを送信される場合は・・・	(FAX)	043-299-3865	06-6792-3221

- 沖縄・奄美地区については、下表の「那覇サービスセンター」にご連絡ください。

◎ **「持込修理および部品購入のご相談」**は、上記「修理相談センター」のほか、下記地区別窓口にも承っております。

- 受付時間：\*月曜～土曜：午前9時～午後5時30分（祝日など弊社休日を除く）  
〔但し、沖縄・奄美地区〕は・・・\*月曜～金曜：午前9時～午後5時30分（祝日など弊社休日を除く）

担当地域	拠点名	電話番号	郵便番号	所在地
北海道地区	札幌 サービスセンター	011-641-4685	〒063-0801	札幌市西区二十四軒1条7-3-17
東北地区	仙台 サービスセンター	022-288-9142	〒984-0002	仙台市若林区卸町東3-1-27
	さいたま サービスセンター	048-666-7987	〒330-0038	さいたま市宮原町2-107-2
関東地区	宇都宮 サービスセンター	028-637-1179	〒320-0833	宇都宮市不動前4-2-41
	東京テクニカルセンター	03-5692-7765	〒114-0013	東京都北区東田端2-13-17
	多摩 サービスセンター	042-586-6059	〒191-0003	日野市日野台5-5-4
	千葉 サービスセンター	047-368-4766	〒270-2231	松戸市移台295-1
東海地区	横浜 サービスセンター	045-753-4647	〒235-0036	横浜市磯子区中原1-2-23
	静岡 サービスセンター	054-285-9340	〒422-8006	静岡市曲金6-8-44
	名古屋 サービスセンター	052-332-2623	〒454-8721	名古屋市中川区山王3-5-5
北陸地区	金沢 サービスセンター	076-249-2434	〒921-8801	石川郡野々市町御経塚4-103
	京都 サービスセンター	075-672-2378	〒601-8102	京都市南区上鳥羽菅田町48
近畿地区	大阪テクニカルセンター	06-6794-5611	〒547-8510	大阪市平野区加美南3-7-19
	神戸 サービスセンター	078-453-4651	〒658-0082	神戸市東灘区魚崎北町1-6-18
中国地区	広島 サービスセンター	082-874-8149	〒731-0113	広島市安佐南区西原2-13-4
四国地区	高松 サービスセンター	087-823-4901	〒760-0065	高松市朝日町6-2-8
九州地区	福岡 サービスセンター	092-572-4652	〒816-0081	福岡市博多区井相田2-12-1
沖縄・奄美地区	那覇 サービスセンター	098-861-0866	〒900-0002	那覇市曙2-10-1

- 所在地・電話番号などについては変更になることがありますので、その節はご容赦願います。

0206\_CID

6章  
参考

お客様  
ご相談窓口のご案内

● 製品についてのお問い合わせは・・

お客様相談センター	東日本相談室	TEL <b>043-297-4649</b>	FAX <b>043-299-8280</b>
	西日本相談室	TEL <b>06-6621-4649</b>	FAX <b>06-6792-5993</b>
《受付時間》 月曜～土曜：午前9時～午後6時 日曜・祝日：午前10時～午後5時（年末年始を除く）			

● 修理のご相談は・・

63 ページ記載の『お客様ご相談窓口のご案内』をご参照ください。

● シャープホームページ

<http://www.sharp.co.jp/>

# シャープ株式会社

本社 〒545-8522 大阪市阿倍野区長池町22番22号  
AVシステム事業本部 〒739-0192 東広島市八本松飯田2丁目13番1号